

いちき串木野市第1期建物系個別施設計画



市民文化系施設

スポーツ・レクリエーション系施設

産業系施設

学校教育系施設

子育て支援施設

保健・福祉施設

行政系施設

公園

供給処理施設

その他施設

令和3年3月

いちき串木野市

目 次

第1章 個別施設計画の概要

- (1) 背景と目的 1
- (2) 計画の位置付け 1
- (3) 計画の期間 2
- (4) 縮減見込と効果 2

第2章 施設分類ごとの方針

- (1) 市民文化系施設 4
- (2) スポーツ・レクリエーション系施設 6
- (3) 産業系施設 8
- (4) 学校教育系施設 9
- (5) 子育て支援施設 11
- (6) 保健・福祉施設 12
- (7) 行政系施設 13
- (8) 公園 15
- (9) 供給処理施設 17
- (10) その他施設 18

第3章 各施設の詳細 21~189

資料 用語解説・注釈 190

市民アンケート結果 191

第 1 章 個別施設計画の概要

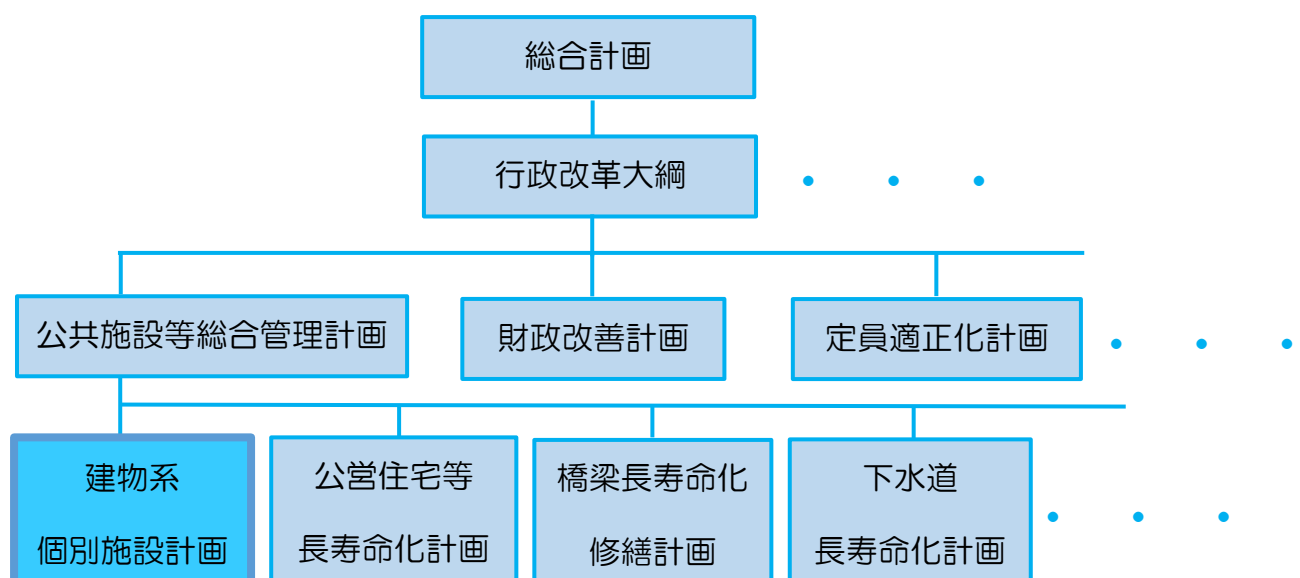
(1) 背景と目的

本市は、今後、人口減少と少子高齢化の進行に伴い、市税や地方交付税などの一般財源が大幅に減少するとともに、社会保障関係費の増加が見込まれ、これまで行っていた行政サービスが維持できなくなるなど極めて厳しい財政状況となることが予想されます。

このような中で、公共施設等（建物系公共施設・インフラ施設）につきましては、高度経済成長期に集中して整備したものが、今後一斉に更新（建替）時期を迎えることになります。市はこれに対応するため、平成 28 年度に、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点で、適正な配置の推進と将来の財政負担の軽減・平準化を目的とする「公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定し、建物系公共施設の保有総量を 10%縮減することとしました。今後、総合管理計画に基づき、公共施設に係るコストと利用状況の両面から各施設の課題を抽出したうえで、人口規模や市民ニーズに対応した公共施設のマネジメントを推進するため、個々の施設の具体的な方向性を示した第 1 期建物系個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）を策定し、持続可能なまちづくりを目指します。

(2) 計画の位置付け

総合管理計画は、公共施設等の適正配置、管理に関する基本方針及び数値目標を示した計画となっています。個別施設計画は、総合管理計画の基本方針及び数値目標を実現するため、各施設の方針を定めた実施計画として位置付けます。



(3) 計画の期間

総合管理計画は、社会環境の変化や人口動態の変化などを考慮し、第1期の計画期間を平成28年度から令和7年度までの10年間としています。個別施設計画は、総合管理計画の実施計画であることから、計画期間の終期を総合管理計画と合わせ、令和2年度から令和7年度までの6年間とします。



(4) 縮減見込と効果

①縮減見込

総合管理計画策定時（平成27年度末時点）の施設数は201施設、延床面積は179,297㎡となっています。個別施設計画を基に縮減を進めると、計画期間終了時点（令和7年度末）の施設数は185施設、延床面積は157,792㎡となり、縮減見込としては21,505㎡、縮減率は11.99%となります。（表1参照）

表 1 縮減見込面積

分類	令和 7 年度末			平成 27 年度末			縮減見込 面積(m ²) [A] - [B]
	施設数	棟数	延床面積 (m ²) [A]	施設数	棟数	延床面積 (m ²) [B]	
市民文化系施設	22	28	15,038	17	26	13,991	1,047
スポーツ・レクリエーション系施設	20	40	13,742	29	56	31,864	▲18,122
産業系施設	4	3	1,091	5	5	2,158	▲1,067
学校教育系施設	14	154	55,665	17	172	57,543	▲1,878
子育て支援施設	1	2	764	4	9	1,859	▲1,095
保健・福祉施設	6	7	4,681	7	8	4,837	▲156
行政系施設	19	32	12,910	18	34	12,407	503
公営住宅	30	122	39,302	28	121	39,291	11
公園	31	33	420	30	31	459	▲39
供給処理施設	2	7	7,956	4	13	8,137	▲181
その他施設	36	53	6,223	42	63	6,751	▲528
計	185	481	157,792	201	538	179,297	▲21,505

②効果

個別施設計画を基に 21,505 m²の縮減を進めた場合、77.4 億円の将来更新負担額の軽減が見込まれます。また、維持管理費については、令和 8 年度以降、年額 0.5 億円の削減が見込まれます。

保有総量の縮減による将来更新負担額の軽減

保有総量を 21,505 m²縮減した場合の更新費用の効果額

(更新単価は、総合管理計画で用いた 36 万円/m²にて試算)

$$21,505 \text{ m}^2 \times 36 \text{ 万円} \div 77.4 \text{ 億円}$$

第2章 施設分類ごとの方針

(1) 市民文化系施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 長期にわたり有効活用を図るため、計画的に補修工事、大規模改修を行うとともに、必要に応じ、耐震診断・耐震改修を実施します。 ◆ 建替えが必要な場合には、複合化・規模縮小などにより、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 指定管理者と連携し、中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和7年度まで)
1	土川交流センター	1	230 m ²	1978 年	42 年	605 千円	継続
2	羽島交流センター	2	526 m ²	1971 年	49 年	1,407 千円	改修
3	荒川交流センター	1	300 m ²	1979 年	41 年	1,817 千円	継続
4	本浦交流センター	1	343 m ²	2012 年	8 年	689 千円	継続
5	照島交流センター	1	500 m ²	1979 年	41 年	2,088 千円	継続
6	上名交流センター	1	756 m ²	1981 年	39 年	2,283 千円	継続
7	旭交流センター	1	350 m ²	1979 年	41 年	2,064 千円	継続
8	生福交流センター	1	473 m ²	1975 年	45 年	1,543 千円	改修
9	冠岳交流センター	1	343 m ²	1978 年	42 年	1,869 千円	継続
10	湊交流センター	2	342 m ²	1992 年	28 年	500 千円	改修
11	川南交流センター	1	177 m ²	1980 年	40 年	528 千円	継続
12	川北交流センター	1	412 m ²	1988 年	32 年	574 千円	継続
13	川上交流センター	4	853 m ²	2001 年	19 年	1,017 千円	継続
14	野平交流センター	1	248 m ²	2017 年	3 年	526 千円	継続
15	中央交流センター	1	799 m ²	1967 年	53 年	3,696 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
16	中央公民館	1	984 m ²	1963 年	57 年	516 千円	継続
17	市来地域公民館	1	549 m ²	1962 年	58 年	510 千円	継続
18	市民文化センター	3	2,374 m ²	1963 年	57 年	11,267 千円	継続
19	いちきアクアホール	1	3,514 m ²	2000 年	20 年	12,115 千円	継続
20	図書館	1	749 m ²	1982 年	38 年	19,704 千円	継続
21	図書館分館	—	(265 m ²)	2000 年	20 年		継続
22	冠嶽園	1	216 m ²	1991 年	29 年	3,625 千円	改修

※図書館分館の延床面積は、他施設の一部であるため括弧書きとした。

(2) スポーツ・レクリエーション系施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 指定管理者と連携し、中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 公共施設として保有する必要性が低い施設は、積極的に民営化などを行います。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	川上運動広場	2	18 m ²	1977 年	43 年	227 千円	廃止
2	多目的グラウンド	5	1,111 m ²	2006 年	14 年	14,403 千円	継続
3	市来運動場	1	170 m ²	1999 年	21 年	352 千円	継続
4	旭運動広場	1	17 m ²	1997 年	23 年	78 千円	廃止
5	ふれんどパーク羽島	1	34 m ²	2001 年	19 年	516 千円	継続
6	川北スポーツ公園	1	44 m ²	2004 年	16 年	755 千円	継続
7	総合体育館	1	5,824 m ²	2013 年	7 年	24,476 千円	継続
8	串木野体育センター	1	1,169 m ²	1973 年	47 年	3,786 千円	廃止
9	B&G 海洋センター(体育館)	1	1,103 m ²	1978 年	42 年	5,822 千円	継続
10	市来体育館	1	1,498 m ²	1980 年	40 年	10,692 千円	継続
11	B&G 海洋センター(武道館)	1	525 m ²	1980 年	40 年	2,660 千円	継続
12	市来武道館	1	449 m ²	1985 年	35 年	292 千円	継続
13	串木野弓道場	3	204 m ²	1966 年	54 年	168 千円	廃止
14	市来弓道場	3	386 m ²	1996 年	24 年	277 千円	継続
15	B&G 海洋センター(プール)	3	106 m ²	1977 年	43 年	9,970 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
16	市民プール	3	57 m ²	1972 年	48 年	2,536 千円	廃止
17	B&G 海洋センター（艇庫）	1	450 m ²	1977 年	43 年	303 千円	継続
18	相撲競技場	1	324 m ²	1968 年	52 年	249 千円	廃止
19	庭球場	4	192 m ²	2012 年	8 年	1,407 千円	継続
20	パークゴルフ場	1	208 m ²	2007 年	13 年	812 千円	継続
21	国民宿舎串木野さのさ荘	3	9,936 m ²	1972 年	48 年	—	譲渡済
22	国民宿舎吹上浜荘	1	3,711 m ²	1965 年	55 年	—	譲渡済
23	市来ふれあい温泉センター	1	2,633 m ²	1996 年	24 年	—	譲渡済
24	観音ヶ池市民の森	7	512 m ²	1992 年	28 年	5,389 千円	継続
25	小水林間広場	1	26 m ²	1998 年	22 年	929 千円	継続
26	沖ノ浜国有林内施設	2	47 m ²	1972 年	48 年	8 千円	廃止
27	照島海岸（倉庫）	3	24 m ²	1991 年	29 年	0 千円	継続
28	照島海水浴場（管理棟）	1	209 m ²	1986 年	34 年	56 千円	継続
29	総合観光案内所	2	196 m ²	2016 年	4 年	25,423 千円	継続
30	薩摩藩英国留学生記念館	1	675 m ²	2014 年	6 年	25,097 千円	継続

(3) 産業系施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 指定管理者と連携し、中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 公共施設として保有する必要性が低い施設は、積極的に民営化などを行います。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	働く女性の家	1	799 m ²	1979 年	41 年	6,859 千円	継続
2	いちき特産品直売所季楽館	1	154 m ²	1996 年	24 年	1,110 千円	継続
3	大里農産加工センター	1	138 m ²	1990 年	30 年	1,004 千円	継続
4	川上生活改善センター	1	268 m ²	1977 年	43 年	667 千円	廃止
5	生福農業研修センター (生福交流センター内)	—	(112 m ²)	1975 年	45 年	461 千円	継続

※生福農業研修センターの延床面積は、他施設の一部であるため括弧書きとした。

(4) 学校教育系施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 児童・生徒の減少や教育課程等の見直しなどにより、校舎・部室などの施設は集約化、使用しなくなる施設は除却などを行い、保有施設の適正化を図ります。 ◆ 老朽化が著しい施設は、児童・生徒数や利用状況などを勘案し、建替え時には規模縮小などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化を図ることで、施設の維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 学校規模適正化委員会の提言や国から示された公立小・中学校の適正化規模・適正配置等に関する手引きを参考に、保護者・地域の意見等を踏まえ、小中学校の再編・整理に取り組んでいきます。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	串木野小学校	22	8,552 m ²	1963 年	57 年	12,332 千円	継続
2	照島小学校	8	4,572 m ²	1973 年	47 年	7,251 千円	継続
3	羽島小学校	7	3,351 m ²	1967 年	53 年	4,241 千円	継続
4	旭小学校	14	1,707 m ²	1972 年	48 年	3,511 千円	継続
5	生福小学校	8	2,238 m ²	1968 年	52 年	5,123 千円	継続
6	荒川小学校	11	1,567 m ²	1964 年	56 年	3,292 千円	継続
7	冠岳小学校	11	1,537 m ²	1967 年	53 年	3,868 千円	廃止
8	市来小学校	12	4,455 m ²	1972 年	48 年	9,488 千円	継続
9	川上小学校	8	2,063 m ²	1965 年	55 年	3,432 千円	継続
10	串木野中学校	13	9,826 m ²	1993 年	27 年	13,820 千円	継続
11	串木野西中学校	13	5,028 m ²	1971 年	49 年	7,812 千円	継続
12	羽島中学校	10	2,919 m ²	1976 年	44 年	5,348 千円	継続
13	生冠中学校	7	2,306 m ²	1977 年	43 年	6,635 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
14	市来中学校	18	5,035 m ²	1964 年	56 年	8,277 千円	継続
15	串木野学校給食センター	4	1,239 m ²	1983 年	37 年	13,584 千円	廃止
16	市来学校給食センター	1	425 m ²	2001 年	19 年	6,985 千円	廃止
17	学校給食センター	3	2,046 m ²	2019 年	1 年	—	継続

※小中学校の施設詳細については、別途計画による。

(5) 子育て支援施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 少子化に伴い、園児の減少が見込まれる場合は、保護者・地域の意見等を踏まえ、子育て支援施設の再編・整理に向けた検討を進めていきます。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	旭幼稚園	2	181 m ²	1984 年	36 年	1,123 千円	廃止
2	市来幼稚園	2	764 m ²	1988 年	32 年	2,486 千円	継続
3	生福保育所	3	578 m ²	1979 年	41 年	11,210 千円	譲渡
4	海浜児童センター	2	336 m ²	1977 年	43 年	2,302 千円	廃止

(6) 保健・福祉施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	串木野高齢者福祉センター	2	1,329 m ²	1980 年	40 年	6,102 千円	継続
2	デイサービスセンター	1	298 m ²	1995 年	25 年		継続
3	市来高齢者福祉センター	1	530 m ²	1977 年	43 年	835 千円	継続
4	健康増進センター豊楽館	1	169 m ²	1999 年	21 年	934 千円	譲渡
5	秀栄ドーム	1	954 m ²	2002 年	18 年	240 千円	継続
6	串木野健康増進センター	1	1,157 m ²	1995 年	25 年	8,269 千円	継続
7	市来保健センター	1	413 m ²	1967 年	53 年	981 千円	継続

(7) 行政系施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 串木野庁舎は耐用年数とされている50年に近い施設であり、市来庁舎も建築後約30年経過した施設であることから、日常的な点検等を通して、建物の劣化状況や設備機器の更新時期等を把握し、計画的な予防修繕等に努め、長寿命化を図ります。 ◆ 老朽化した施設は、長期にわたり有効に活用するため、計画的に補修工事、大規模改修を行います。 ◆ 老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。 ◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和7 年度まで)
1	市役所串木野庁舎	4	5,202 m ²	1971 年	49 年	21,692 千円	継続
2	市役所市来庁舎	6	3,922 m ²	1989 年	31 年	10,900 千円	継続
3	防災センター	1	882 m ²	2019 年	1 年	—	継続
4	消防庁舎	4	1,100 m ²	1983 年	37 年	2,435 千円	継続
5	いちき分遣所	3	464 m ²	1982 年	38 年	978 千円	継続
6	土川班車庫詰所	1	40 m ²	1978 年	42 年	5 千円	継続
7	羽島地区コミュニティ 消防センター	1	120 m ²	1996 年	24 年	24 千円	継続
8	荒川地区コミュニティ 消防センター	1	72 m ²	1993 年	27 年	29 千円	継続
9	本浦地区コミュニティ 消防センター	1	86 m ²	1999 年	21 年	38 千円	継続
10	中央地区コミュニティ 消防センター	1	118 m ²	1992 年	28 年	39 千円	継続
11	照島地区コミュニティ 消防センター	1	120 m ²	1995 年	25 年	38 千円	継続
12	旭地区コミュニティ 消防センター	1	72 m ²	1994 年	26 年	29 千円	継続
13	生福地区コミュニティ 消防センター	1	130 m ²	2004 年	16 年	29 千円	継続
14	冠嶽地区コミュニティ 消防センター	1	75 m ²	1994 年	26 年	29 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
15	湊分団車庫・詰所	1	136 m ²	1982 年	38 年	39 千円	継続
16	川南分団車庫・詰所	1	106 m ²	1986 年	34 年	35 千円	継続
17	川北分団車庫・詰所	1	107 m ²	1992 年	28 年	35 千円	継続
18	川上分団車庫・詰所	1	96 m ²	1987 年	33 年	34 千円	継続
19	消防資機材倉庫	1	62 m ²	1975 年	45 年	0 千円	継続

(8) 公園の方針

総合管理計画管理方針		◆ 指定管理者と連携し、中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	荒川農村公園	1	18 m ²	1996 年	24 年	333 千円	廃止
2	市口公園	1	8 m ²	1962 年	58 年	293 千円	継続
3	駅下公園	1	5 m ²	1982 年	38 年	220 千円	継続
4	塩田第 1 公園	1	4 m ²	1989 年	31 年	312 千円	継続
5	塩田第 2 公園	1	6 m ²	1989 年	31 年	355 千円	継続
6	塩田第 3 公園	1	4 m ²	1989 年	31 年	240 千円	継続
7	大原公園	1	5 m ²	1982 年	38 年	333 千円	継続
8	御倉町公園	2	17 m ²	1982 年	38 年	1,334 千円	継続
9	冠岳展望公園	1	26 m ²	2000 年	20 年	238 千円	継続
10	光神免公園	1	5 m ²	1982 年	38 年	271 千円	継続
11	郷之原第 2 公園	1	9 m ²	1971 年	49 年	356 千円	継続
12	郷之原第 3 公園	1	9 m ²	1967 年	53 年	304 千円	継続
13	讃岐公園	1	30 m ²	1971 年	49 年	640 千円	継続
14	白左工門ヶ丘公園	1	3 m ²	1988 年	32 年	180 千円	継続
15	新田跡公園	1	10 m ²	2009 年	11 年	937 千円	継続
16	須賀広場	1	10 m ²	1983 年	37 年	137 千円	廃止
17	中央公園	1	9 m ²	1992 年	28 年	339 千円	継続
18	照島公園	1	7 m ²	1984 年	36 年	497 千円	継続
19	照島東公園	1	5 m ²	1984 年	36 年	315 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
20	長崎鼻公園	1	34 m ²	1991 年	29 年	2,382 千円	継続
21	中道公園	1	10 m ²	2009 年	11 年	371 千円	継続
22	西岳公園	1	9 m ²	1988 年	32 年	146 千円	継続
23	浜中公園	1	10 m ²	2017 年	3 年	510 千円	継続
24	麓ふれあい公園	1	17 m ²	2006 年	14 年	546 千円	継続
25	湊中央公園	1	17 m ²	2004 年	16 年	603 千円	継続
26	新開公園	1	10 m ²	2012 年	8 年	410 千円	継続
27	西之口公園	1	10 m ²	2012 年	8 年	387 千円	継続
28	新田公園	1	10 m ²	2012 年	8 年	312 千円	継続
29	れいめいふれあい公園	1	19 m ²	1998 年	22 年	263 千円	継続
30	西薩公園	1	40 m ²	2015 年	5 年	930 千円	継続
31	郷之原第 1 公園	1	10 m ²	2016 年	4 年	263 千円	継続
32	冠岳花川砂防公園	2	52 m ²	2016 年	4 年	572 千円	継続
33	権現下公園	1	10 m ²	2017 年	3 年	492 千円	継続

(9) 供給処理施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 串木野環境センターの老朽化に伴い、更新が必要となった場合は、隣接市町村との共同利用・施設整備を検討します。 ◆ 市来一般廃棄物利用エネルギーセンター、市来最終処分場は、新しい最終処分場の建設後に除却します。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	串木野環境センター	6	7,355 m ²	1999 年	21 年	193,964 千円	改修
2	旧清掃センター	3	485 m ²	1979 年	41 年	0 千円	廃止
3	市来埋立処分場	1	49 m ²	2005 年	15 年	0 千円	廃止
4	一般廃棄物利用 エネルギーセンター	2	171 m ²	2003 年	17 年	0 千円	廃止
5	一般廃棄物管理型 最終処分場	1	601 m ²	2017 年	3 年	51,653 千円	継続

(10) その他施設の方針

総合管理計画管理方針		◆ 中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 ◆ 用途廃止された施設は民間譲渡・用途変更などを検討し、今後、活用が見込まれず、老朽化が著しい施設は除却します。					
No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
1	串木野小学校校長住宅	1	86 m ²	1995 年	25 年	0 千円	継続
2	串木野小学校教頭住宅	1	86 m ²	1997 年	23 年	6 千円	継続
3	照島小学校校長住宅	1	86 m ²	1994 年	26 年	0 千円	継続
4	照島小学校教頭住宅	1	86 m ²	1995 年	25 年	10 千円	継続
5	羽島小学校校長住宅	2	87 m ²	1990 年	30 年	27 千円	継続
6	羽島小学校教頭住宅	1	89 m ²	1998 年	22 年	6 千円	継続
7	旭小学校校長住宅	2	83 m ²	1992 年	28 年	4 千円	継続
8	旭小学校教頭住宅	1	86 m ²	1996 年	24 年	33 千円	継続
9	生福小学校校長住宅	2	88 m ²	1982 年	38 年	9 千円	継続
10	生福小学校教頭住宅	2	78 m ²	1978 年	42 年	140 千円	継続
11	荒川小学校校長住宅	1	78 m ²	1991 年	29 年	4 千円	継続
12	荒川小学校教頭住宅	2	88 m ²	1976 年	44 年	37 千円	継続
13	冠岳小学校校長住宅	2	79 m ²	1991 年	29 年	4 千円	廃止
14	冠岳小学校教頭住宅	1	86 m ²	2000 年	20 年	35 千円	廃止
15	串木野中学校校長住宅	1	87 m ²	1996 年	24 年	47 千円	継続
16	串木野中学校教頭住宅	1	86 m ²	1997 年	23 年	6 千円	継続
17	串木野西中学校校長住宅	1	89 m ²	2007 年	13 年	6 千円	継続
18	串木野西中学校教頭住宅	1	89 m ²	2007 年	13 年	6 千円	継続

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
19	羽島中学校校長住宅	1	86 m ²	1998 年	22 年	91 千円	継続
20	羽島中学校教頭住宅	2	74 m ²	1977 年	43 年	6 千円	継続
21	生冠中学校校長住宅	1	89 m ²	2009 年	11 年	6 千円	継続
22	生冠中学校教頭住宅	1	70 m ²	1977 年	43 年	6 千円	継続
23	教育長住宅	2	85 m ²	1992 年	28 年	0 千円	継続
24	日出町教職員住宅	1	86 m ²	2001 年	19 年	0 千円	継続
25	住吉町教職員住宅	1	81 m ²	1978 年	42 年	0 千円	廃止
26	市来小学校校長住宅	1	102 m ²	1995 年	25 年	6 千円	継続
27	市来小学校教頭住宅	1	88 m ²	1976 年	44 年	4 千円	継続
28	川上小学校校長住宅	1	91 m ²	1991 年	29 年	4 千円	継続
29	川上小学校教頭住宅	1	91 m ²	1992 年	28 年	4 千円	継続
30	市来中学校校長住宅	1	98 m ²	1995 年	25 年	40 千円	継続
31	市来中学校教頭住宅	1	94 m ²	2005 年	15 年	6 千円	継続
32	防災行政無線小ヶ倉中継局	1	14 m ²	1982 年	38 年	63 千円	継続
33	日置北部公設地方卸売市場	1	1,539 m ²	1995 年	25 年	123 千円	継続
34	冠岳農村工業団地	6	1,602 m ²	1988 年	32 年	1,355 千円	継続
35	照島工業用地工場跡建屋	1	1,241 m ²	1984 年	36 年	0 千円	譲渡
36	神村学園前駅前広場	2	55 m ²	2009 年	11 年	1,618 千円	継続
37	旧土川小学校	4	1,442 m ²	1991 年	29 年	0 千円	譲渡
38	旧土川小教頭住宅	2	83 m ²	1979 年	41 年	6 千円	譲渡

No.	施設名称	棟数	延床面積	建築年度	経過 年数	管理経費 (H30 年度決算)	方針 (令和 7 年度まで)
39	旧西薩開発所	2	272 m ²	1984 年	36 年	0 千円	譲渡
40	旧船舶職員養成講習所	2	537 m ²	1964 年	56 年	128 千円	継続
41	旧羽島分団車庫	1	24 m ²	1966 年	54 年	0 千円	譲渡
42	羽島崎トイレ	1	22 m ²	2013 年	7 年	490 千円	継続
43	木原墓地トイレ等	4	23 m ²	1992 年	28 年	535 千円	継続
44	野元墓地トイレ	1	5 m ²	1993 年	27 年	165 千円	継続
45	旧川上地域公民館	2	183 m ²	1969 年	51 年	—	譲渡済

No.(1)-1

(1)概要

施設名称	土川交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	230 m ²	
所在地	羽島 9675 番地	敷地面積	2,042 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	土川交流センター	230	鉄筋コンクリート	2	1978	42	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2016	土川交流センター	シェルター化工事	108,140	
2015	土川交流センター	災害内外壁修繕	157	
1998	土川交流センター	冷暖房設備設置	3,699	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	土川自治公民館の拠点として自治公民館活動が行われている。年間約 100 人の利用があり、土川自治公民館が指定管理を行っている。なお、放射線防護施設としての機能を有している。
今後の方針	地域の拠点施設であり、放射線防護施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-2

(1)概要

施設名称	羽島交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	2	
種別	集会施設	延床面積	526 m ²	
所在地	羽島 5218 番地	敷地面積	2,758 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	羽島交流センター	490	鉄筋コンクリート	2	1971	49	50	
2	発電設備・燃料タンク	36	鉄筋コンクリート	2	2016	4	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2016	羽島交流センター	シェルター化工事	148,947	
2015	羽島交流センター	耐震補強工事	20,924	
2014	羽島交流センター	冷暖房設備取替	735	
2012	羽島交流センター	窓修繕	299	
1992	羽島交流センター	冷暖房設備設置	6,319	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間約 1 万人の利用があり、放射線防護施設としての機能を有している。
今後の方針	地域の拠点となる施設であり、放射線防護施設でもあることから、継続とする。
備考	

No.(1)-3

(1)概要

施設名称	荒川交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	300 m ²	
所在地	荒川 2450 番地 1	敷地面積	3,054 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	荒川交流センター	300	鉄筋コンクリート	1	1979	41	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2010	荒川交流センター	改修工事	10,949	
1997	荒川交流センター	冷暖房設備設置	6,962	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間 6 千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-4

(1)概要

施設名称	本浦交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	343 m ²	
所在地	西浜町 1 番地 1	敷地面積	886 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	本浦交流センター	343	鉄筋コンクリート	1	2012	8	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	本浦交流センター	建具修繕	154	
2012	本浦交流センター	建設工事	70,539	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間8千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-5

(1)概要

施設名称	照島交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	500 m ²	
所在地	東島平町 7956 番地	敷地面積	34,486 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	照島交流センター	500	鉄筋コンクリート	1	1979	41	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	照島交流センター	トイレ壁塗装	249	
2017	照島交流センター	外構改修	298	
2016	照島交流センター	玄関ヒンジ修繕	146	
2015	照島交流センター	屋根防水修繕	2,949	
2013	照島交流センター	会議室空調設備修繕	697	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間5千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-6

(1)概要

施設名称	上名交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	756 m ²	
所在地	上名 2518 番地	敷地面積	2,919 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	上名交流センター	756	鉄筋コンクリート	1	1981	39	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2018	上名交流センター	非常用放送設備取替	497	
2016	上名交流センター	屋外給水配管敷設替	1,772	
2015	上名交流センター	自動ドア修繕	149	
2014	上名交流センター	内装設備改修	11,470	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点、生涯学習活動の場として地区内外からの多くの活動が行われている。年間1万3千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設及び生涯学習活動の場であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-7

(1)概要

施設名称	旭交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	350 m ²	
所在地	金山 14103 番地 1	敷地面積	7,063 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	旭交流センター	350	鉄骨造	1	1979	41	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	旭交流センター	ガラス取替	121	
2016	旭交流センター	コンクリート舗装	276	
2012	旭交流センター	窓改修	210	
2012	旭交流センター	屋根外壁改修	9,639	
1996	旭交流センター	冷暖房設備設置	7,059	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間4千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-8

(1)概要

施設名称	生福交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	473 m ²	
所在地	生福 8576 番地 1	敷地面積	7,090 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	生福交流センター	473	鉄筋コンクリート	2	1975	45	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	生福交流センター	和室空調改修	455	
2013	生福交流センター	改修	20,774	
1998	生福交流センター	事務室空調設置	225	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的、また、農業経営技術の研修、農村生活環境の改善、地域住民と都市住民との交流促進を通じた農村振興及び地域経済の活性化等を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点及び農産物加工施設として活動が行われている。年間5千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-9

(1)概要

施設名称	冠岳交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	343 m ²	
所在地	冠嶽 13511 番地 2	敷地面積	1,346 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	冠岳交流センター	343	鉄筋コンクリート	1	1978	42	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2015	冠岳交流センター	屋根防水修繕	3,820	
2013	冠岳交流センター	動力ブレーカ変更	158	
2013	冠岳交流センター	調理室給水設備修繕	252	
2012	冠岳交流センター	集会室空調改修	2,195	
1995	冠岳交流センター	事務室空調設置	7,081	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間4千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-10

(1)概要

施設名称	湊交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	2	
種別	集会施設	延床面積	342 m ²	
所在地	湊町3丁目247番地	敷地面積	1,195 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	事務所	72	木造	1	1992	28	24	
2	倉庫	270	鉄骨造	1	1992	28	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2015	湊交流センター	倉庫ドア屋根外壁修繕	960	
2012	湊交流センター	外構整備	1,565	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で設置された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間2千人の利用がある。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。地区まちづくり協議会を管理者として指定管理制度導入を検討する。
備考	

No.(1)-1 1

(1)概要

施設名称	川南交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	177 m ²	
所在地	大里 3246 番地 1	敷地面積	552 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	川南交流センター	177	鉄筋コンクリート	1	1980	40	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	川南交流センター	空調設備入替	1,404	
2017	川南交流センター	ドア設置	457	
2011	川南交流センター	改修	6,794	
2009	川南交流センター	浄化槽修繕	—	
2004	川南交流センター	空調設備設置	—	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的並びに農村振興等を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間3千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-12

(1)概要

施設名称	川北交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	412 m ²	
所在地	大里 5664 番地	敷地面積	1,792 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	川北交流センター	412	鉄筋コンクリート	1	1988	32	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2014	川北交流センター	水路法面修繕	947	
2011	川北交流センター	改修	11,013	
2007	川北交流センター	空調設備設置	3,612	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的並びに市民の豊かな地域社会づくりの研修を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間4千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-13

(1)概要

施設名称	川上交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	4	
種別	集会施設	延床面積	853 m ²	
所在地	川上 978 番地	敷地面積	21,491 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	集会所	781	鉄骨造	1	2001	19	38	
2	カヌー艇庫	35	木造	1	2001	19	15	
3	便所 1	24	木造	1	2001	19	15	
4	便所 2	13	木造	1	2001	19	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2013	集会所	軒天井雨漏修繕	295	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的並びに農村振興等を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間3千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-14

(1)概要

施設名称	野平交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	248 m ²	
所在地	平江 20271 番地 5	敷地面積	802 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	野平交流センター	248	木造	1	2017	3	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	野平交流センター	建設工事	63,266	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設として、市民の自主的・主体的な地域づくり活動及び社会教育法に定める公民館機能の充実と生涯学習等の推進を図る目的で建設された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点として活動が行われている。年間2千人の利用がある。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。地区まちづくり協議会を管理者として指定管理制度導入を検討する。
備考	

No.(1)-15

(1)概要

施設名称	中央交流センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	799 m ²	
所在地	元町 236 番地	敷地面積	327 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	中央交流センター	799	鉄筋コンクリート	2	1967	53	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	中央交流センター	自火報受信機設備更新	209	
2019	中央交流センター	屋根防水補償工事	—	
2017	中央交流センター	屋根防水工事	12,096	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1995 年に商店街活性化施設として、民間施設を購入し整備した。2013 年には市民と行政による共生・協働のまちづくりを行うための拠点施設としての目的が追加された。
現状	地区まちづくり協議会の拠点、商店街活性化施設として活動が行われており、年間1万人の利用がある。
今後の方針	地域の拠点施設であることから、継続とする。地区まちづくり協議会を管理者として指定管理制度導入を検討する。
備考	

No.(1)-16

(1)概要

施設名称	中央公民館			
所管課	社会教育課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	984 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	17,388 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	中央公民館	984	鉄筋コンクリート	4	1963	57	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	中央公民館	建築設備非常灯器具取替修繕	1,115	
2017	中央公民館	研修室空調修繕	745	
2014	中央公民館	屋根防水改修工事	5,418	
2012	中央公民館	大規模改修工事	27,300	
2012	中央公民館	耐震補強改修工事	16,840	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 24 条の規定に基づき設置され、市民の生涯学習推進の拠点となっている。
現状	施設の特性を活かした活用があり、年間 1 万 1 千人の利用がある。
今後の方針	市民の生涯学習の拠点施設であり、年間を通じて有効活用されていることから、継続とする。
備考	

No.(1)-17

(1)概要

施設名称	市来地域公民館			
所管課	社会教育課	棟数	1	
種別	集会施設	延床面積	549 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 102 番地	敷地面積	11,525 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来地域公民館	549	鉄筋コンクリート	1	1962	58	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2014	市来地域公民館	屋根改修工事	10,530	
2013	市来地域公民館	駐車場整備工事	3,761	
2012	市来地域公民館	研修室空調設備改修工事	2,310	
2010	市来地域公民館	トイレ設置等工事	8,148	
2005	市来地域公民館	サッシ取付け修繕	525	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 24 条の規定に基づき設置され、市民の生涯学習推進の拠点となっている。
現状	施設の特性を活かした活用があり、年間 1 万 1 千人の利用がある。
今後の方針	市民の生涯学習の拠点施設であり、年間を通じて有効活用されていることから、継続とする。
備考	

No.(1)-18

(1)概要

施設名称	市民文化センター			
所管課	社会教育課	棟数	3	
種別	文化施設	延床面積	2,374 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	17,388 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	ホール	2,237	鉄筋コンクリート	2	1963	57	50	
2	機械室	64	鉄筋コンクリート	1	1963	57	50	
3	処理場	73	鉄筋コンクリート	1	1963	57	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	ホール	排煙窓修繕	599	
2015	ホール	1F空調改修	13,867	
2015	ホール	玄関北側柱塗装修繕等	1,529	
2014	ホール	調光器盤整備事業	49,982	
2014	ホール	屋根防水等改修事業	15,209	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の文化教養の向上と福祉の増進を図る目的で設置された。
現状	音響・照明設備を備えており、演奏会や公演など、年間1万6千人の利用がある。
今後の方針	文化芸能の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-19

(1)概要

施設名称	いちきアクアホール			
所管課	社会教育課	棟数	1	
種別	文化施設	延床面積	3,514 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 102 番地	敷地面積	11,525 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	いちきアクアホール	3,514	鉄筋コンクリート	2	2000	20	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	いちきアクアホール	中央監視装置修繕	753	
2016	いちきアクアホール	男女トイレ修繕	1,034	
2016	いちきアクアホール	自動火災報知機取替修繕	1,426	
2008	いちきアクアホール	リ-ナ吸収冷温水機分解整備	3,413	
2008	いちきアクアホール	調光装置基盤取替修繕	683	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の芸術文化及び教養の向上並びに健康づくりを図り、地域の振興に資する目的で設置された。
現状	可動式座席設備を備えており、公演や軽運動など、多目的に利用できる施設として年間 2 万 8 千人の利用がある。
今後の方針	多目的に利用できる文化・集会施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-20

(1)概要

施設名称	図書館			
所管課	社会教育課	棟数	1	
種別	文化施設	延床面積	749 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	17,388 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	図書館	749	鉄筋コンクリート	1	1982	38	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2014	図書館	屋根防水改修事業	9,505	
2014	図書館	昇降機改修工事	9,990	
2014	図書館	空調機改修工事	6,804	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	図書、記録その他の資料を収集、整理及び保存して一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため設置された。
現状	図書館施設や移動図書館車により、市民の本に親しむ機会や学習の場として利用されており、年間 3 万 1 千人の利用がある。
今後の方針	市民に図書サービスを提供する施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-21

(1)概要

施設名称	図書館分館			
所管課	社会教育課	棟数	—	
種別	文化施設	延床面積	(265 m ²)	
所在地	湊町 1 丁目 102 番地	敷地面積	11,525 m ²	

(2)構成

※延床面積は、他施設の一部であるため括弧書きとした。

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	図書館分館	(265)	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2000	20	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	図書、記録その他の資料を収集、整理及び保存して一般の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため設置された。
現状	市民の本に親しむ機会や学習の場として利用されており、年間 9 千人の利用がある。
今後の方針	市民に図書サービスを提供する施設であることから、継続とする。
備考	

No.(1)-22

(1)概要

施設名称	冠嶽園			
所管課	社会教育課	棟数	1	
種別	文化施設	延床面積	216 m ²	
所在地	冠嶽 13511 番地 7	敷地面積	2,277 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	冠嶽園	216	木造	1	1991	29	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	冠嶽園	内壁及び外壁修繕	872	
2013	冠嶽園	屋根修繕	9,200	
2008	冠嶽園	八蓬閣及び游歩廊修繕	1,595	
2005	冠嶽園	屋根及び壁修繕	5,124	
2000	冠嶽園	防水及び屋根瓦修繕	6,636	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民に教育、文化施設を提供するため公の施設として設置された。
現状	中国風庭園として年間1万 1 千人の来訪者がいる。文化施設である一方、観光施設としての側面を持っており、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	白アリや雨漏り等の腐食や、経過年数による老朽化により劣化している部分があることから、必要な改修を行い、施設を継続して活用する。
備考	

No.(2)-1

(1)概要

施設名称	川上運動広場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	2	
種別	スポーツ施設	延床面積	18 m ²	
所在地	川上 1707 番地	敷地面積	8,223 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	9	鉄筋コンクリート	1	1977	43	38	
2	倉庫	9	コンクリートブロック	1	1977	43	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	地域住民の健康の増進と連帯感の醸成を図る目的で建設された。
現状	年間を通して利用が2千人と少ない。また、施設においても老朽化している。まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	類似施設である多目的グラウンド及び市来運動場を継続とすることから、廃止する。
備考	

No.(2)-2

(1)概要

施設名称	多目的グラウンド			
所管課	市民スポーツ課	棟数	5	
種別	スポーツ施設	延床面積	1,111 m ²	
所在地	生福 5351 番地	敷地面積	75,129 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理棟兼スタンド	876	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2006	14	50	
2	倉庫 1	90	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2002	18	50	
3	倉庫 2	25	軽量鉄骨造	1	1999	21	24	
4	便所	60	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2002	18	38	
5	西側便所	60	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2002	18	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	便所	トイレ壁修繕	1,566	
2018	管理棟兼スタンド	雨漏り修繕	1,404	
2013	管理棟兼スタンド	鳥害防止ﾈｯﾄ設置	4,400	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民のスポーツ活動を推進し、健全な心身を育成する目的で建設された。
現状	本市の各種屋外スポーツ施設の中心として年間 5 万 5 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる本市の中核的なグラウンドであることから、継続とする。
備考	

No.(2)-3

(1)概要

施設名称	市来運動場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	170 m ²	
所在地	湊町 1243 番地 1	敷地面積	18,666 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理棟兼倉庫・トイレ	170	鉄骨造	2	1999	21	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康の維持増進とスポーツの振興を図ることを目的に建設された。
現状	本市の各種屋外スポーツ施設の中心として年間 3 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる地域拠点のグラウンドであることから、継続とする。
備考	

No.(2)-4

(1)概要

施設名称	旭運動広場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	17 m ²	
所在地	金山 14052 番地 2	敷地面積	8,391 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	17	コンクリートブロック	1	1997	23	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1993 年に三井串木野鉱山より寄附された用地を活用し、地域住民の健康の増進と連帯感の醸成を図る目的で設置された。
現状	年間利用者数が 60 人程度であり少ない。
今後の方針	利用者の状況を勘案し、廃止する。
備考	

No.(2)-5

(1)概要

施設名称	ふれんどパーク羽島			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	34 m ²	
所在地	羽島 1700 番地	敷地面積	22,070 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	34	木造	1	2001	19	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農村集落の生活環境の改善並びに地域住民と都市住民との交流促進を通じた農村振興及び地域経済の活性化を図るため建設された。
現状	主にグラウンドゴルフを中心に、市民体育大会・市駅伝大会の練習会等で年間 8 千人の利用があり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる地域拠点のグラウンドであることから、継続とする。
備考	

No.(2)-6

(1)概要

施設名称	川北スポーツ公園			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	44 m ²	
所在地	大里 5315 番地 1	敷地面積	13,861 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	44	木造	1	2004	16	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農村集落の生活環境の改善並びに地域住民と都市住民との交流促進を通じた農村振興及び地域経済の活性化を図るため建設された。
現状	主にグラウンドゴルフを中心に、ソフトボールスポーツ少年団、各テニスクラブの練習等に年間 1 万 1 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる地域拠点のグラウンドであることから、継続とする。
備考	

No.(2)-7

(1)概要

施設名称	総合体育館			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	5,824 m ²	
所在地	生福 5298 番地 3	敷地面積	18,448 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	総合体育館	5,824	鉄筋コンクリート	2	2013	7	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	総合体育館	アリーナ壁修繕	670	
2018	総合体育館	ウォシュレット取付	777	
2017	総合体育館	ウォシュレット取付	749	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民のスポーツ活動を推進し、健全な心身を育成することを目的に建設された。
現状	本市の各種屋内スポーツ施設の中心として年間 7 万 1 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	立地場所や利用状況から、本市の屋内スポーツ施設の中核的な施設であることから、継続とする。
備考	

No.(2)-8

(1)概要

施設名称	串木野体育センター			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	1,169 m ²	
所在地	長崎町 91 番地	敷地面積	3,086 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野体育センター	1,169	鉄骨造	2	1973	47	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2010	串木野体育センター	バスケットゴール修繕	977	
1996	串木野体育センター	屋根及び外壁等改修工事	15,473	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民のスポーツ、レクリエーション等の振興及び健康の増進を図ることを目的に建設された。
現状	年間 2 万 3 千人の利用があるが、老朽化している。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	屋内スポーツ施設は 4 施設あり、串木野体育センターが最も老朽化しているため、廃止する。
備考	

No.(2)-9

(1)概要

施設名称	B&G 海洋センター(体育館)			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	1,103 m ²	
所在地	野元 20957 番地 1	敷地面積	5,984 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	体育館及び管理棟	1,103	鉄筋コンクリート	1	1978	42	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2007	体育館及び管理棟	屋根、外壁、バリアフリー化	42,806	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	海洋性スポーツレクリエーションを通じて住民の福祉増進とたくましく豊かな人間性をもった健全な青少年を育成することを目的に建設された。
現状	市民が気軽に利用できる体育館として年間 1 万 1 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる体育館として利用されていることから、継続とする。
備考	B&G 海洋センター(武道館)と一体的な施設である。

No.(2)-10

(1)概要

施設名称	市来体育館			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	1,498 m ²	
所在地	大里 5547 番地 1	敷地面積	3,988 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	市来体育館	1,498	鉄筋コンクリート	1	1980	40	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2018	市来体育館	競技用ライン及びバスケットゴール	6,586	
2011	市来体育館	屋根・外壁等改修塗装	34,274	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康及び体力の維持増進とスポーツの振興を図ることを目的に建設された。
現状	市民が気軽に利用できる地域拠点の体育館として年間 1 万 2 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる地域拠点の体育館として利用されていることから、継続とする。
備考	

No.(2)-1 1

(1)概要

施設名称	B&G 海洋センター(武道館)			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	525 m ²	
所在地	野元 20957 番地 1	敷地面積	5,984 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	武道館	525	鉄筋コンクリート	1	1980	40	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2015	武道館	給排水・床・照明器具・サツ等	23,494	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	海洋性スポーツレクリエーションを通じて住民の福祉増進とたくましく豊かな人間性をもった健全な青少年を育成することを目的に建設された。
現状	市民が気軽に利用できる武道館として年間 2 万 1 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる武道館として利用されていることから、継続とする。
備考	B&G 海洋センター(体育館)と一体的な施設である。

No.(2)-12

(1)概要

施設名称	市来武道館			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	449 m ²	
所在地	大里 3750 番地 1	敷地面積	1,539 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来武道館	449	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	1985	35	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の体力及び質実剛健の気風のかん養を図り、特に青少年の体力及び気力の充実に寄与することを目的に建設された。
現状	市民が気軽に利用できる武道館として年間 4 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できる地域拠点の武道館として利用されていることから、継続とする。
備考	

No.(2)-13

(1)概要

施設名称	串木野弓道場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	3	
種別	スポーツ施設	延床面積	204 m ²	
所在地	栄町 16 番地	敷地面積	860 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	射場	54	鉄骨造	1	1966	54	34	
2	客席	107	鉄骨造	1	1980	40	34	
3	的場	43	鉄骨造	1	1966	54	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2001	射場	弓道場補修	1,461	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康の維持増進とスポーツの振興を図ることを目的に建設された。
現状	定期的な利用はあるが年間利用者数は 1 千人と少なく老朽化している。市弓道連盟が指定管理を行っている。
今後の方針	弓道場は 2 施設あり、より老朽化しているため、廃止する。
備考	

No.(2)-14

(1)概要

施設名称	市来弓道場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	3	
種別	スポーツ施設	延床面積	386 m ²	
所在地	大里 5532 番地 1	敷地面積	1,526 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	射場	262	木造	1	1996	24	24	
2	控席	70	鉄骨造	1	2009	11	34	
3	的場	54	木造	1	1996	24	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	射場	防御用塩ビ板取付	481	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康の維持増進とスポーツの振興を図ることを目的に建設された。
現状	定期的に利用されており、年間 3 千人の利用があり、市弓道連盟が指定管理を行っている。
今後の方針	弓道競技の拠点施設として継続とする。
備考	

No.(2)-15

(1)概要

施設名称	B&G 海洋センター(プール)			
所管課	市民スポーツ課	棟数	3	
種別	スポーツ施設	延床面積	106 ㎡	
所在地	小瀬町 139 番地先	敷地面積	4,358 ㎡	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (㎡)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	更衣室	97	鉄筋コンクリート	1	1977	43	47	
2	東倉庫	6	軽量鉄骨造	1	2004	16	24	
3	北倉庫	3	軽量鉄骨造	1	1991	29	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2018		子供プール及び流水スライダープール 塗装	3,013	
2016		プールフェンス修繕	3,420	
2015		プール缶体底盤嵩上げ・塗装	14,645	
2009		プール(塗装・プールサイド 改修・給水 ポンプ 改修)	34,472	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	海洋性スポーツレクリエーションを通じて住民の福祉増進とたくましく豊かな人間性をもった健全な青少年を育成することを目的に建設された。
現状	夏休み期間中のみ開設しており、市内外から 5 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できるプールとして継続とする。
備考	

No.(2)-16

(1)概要

施設名称	市民プール			
所管課	市民スポーツ課	棟数	3	
種別	スポーツ施設	延床面積	57 m ²	
所在地	湊町1丁目99番地	敷地面積	1,475 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理室	22	コンクリートブロック	1	1972	48	34	
2	倉庫	22	コンクリートブロック	1	1972	48	34	
3	機械室	13	コンクリートブロック	1	1972	48	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民一般の体育及び健全なスポーツ活動の振興に寄与することを目的に建設された。
現状	夏休み期間中のみ開設しており、2千人の利用はあるが老朽化している。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	プールは2施設あり、より老朽化しているため、廃止する。
備考	

No.(2)-17

(1)概要

施設名称	B&G 海洋センター（艇庫）			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	450 m ²	
所在地	野元 20957 番地 10	敷地面積	2,388 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	艇庫	450	鉄筋コンクリート	1	1977	43	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2009	艇庫	外壁・ｸｰﾚﾝ	34,472	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	海洋性スポーツレクリエーションを通じて住民の福祉増進とたくましく豊かな人間性をもった健全な青少年を育成することを目的に建設された。
現状	海洋性スポーツレクリエーションの機材等を格納しており、教室・大会等の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	海洋性スポーツレクリエーションを市民が気軽に利用できる施設であることから、継続とする。
備考	

No.(2)-18

(1)概要

施設名称	相撲競技場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	324 m ²	
所在地	港町 46 番地	敷地面積	3,600 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	相撲競技場	324	鉄骨造	1	1968	52	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2001	相撲競技場	相撲競技場補修	696	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供する施設として建設された。 1972 年に開催された太陽国体の相撲競技会場となり、当時の天皇陛下がご臨席された。
現状	利用者数は少なく施設も老朽化している。市相撲連盟が指定管理を行っている。
今後の方針	利用者の状況及び施設の老朽化を勘案し、施設を廃止する。廃止後は公園の一部とする。
備考	

No.(2)-19

(1)概要

施設名称	庭球場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	4	
種別	スポーツ施設	延床面積	192 m ²	
所在地	生福 5333 番地 6	敷地面積	8,620 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	観覧スタンド	102	鉄骨造	1	2012	8	38	
2	会議室	54	鉄筋コンクリート	1	2012	8	47	
3	倉庫	5	鉄筋コンクリート	1	2012	8	47	
4	トイレ	31	鉄筋コンクリート	1	2014	6	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民のスポーツ活動を推進し、健全な心身を育成することを目的に建設された。
現状	市内外から年間 1 万 5 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できるテニス競技の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(2)-20

(1)概要

施設名称	パークゴルフ場			
所管課	市民スポーツ課	棟数	1	
種別	スポーツ施設	延床面積	208 m ²	
所在地	生福 9874 番地 92	敷地面積	26,050 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理棟	208	木造	1	2007	13	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2015		コース修繕	1,500	
2013		駐車場整備	10,000	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民のスポーツ活動を推進し、健全な心身を育成することを目的に建設された。
現状	市内外から年間 2 万 9 千人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できるパークゴルフ場であることから、継続とする。
備考	

No.(2)-24

(1)概要

施設名称	観音ヶ池市民の森			
所管課	農政課	棟数	7	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	512 m ²	
所在地	湊町 1247 番地 3	敷地面積	48,000 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	緑の交流センター	315	木造	1	2001	19	22	
2	トイレ 1	14	コンクリートブロック	1	1987	33	34	
3	トイレ 2	33	木造	1	2006	14	15	
4	トイレ 3	28	鉄筋コンクリート	1	2016	4	38	
5	炊事棟	32	木造	1	1992	28	22	
6	ログハウス 5戸	69	木造	1	1993	27	22	
7	炭焼施設管理棟	21	木造	1	1993	27	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	住民が自然環境及び林業に親しみ、これらに対する理解を深める機会を提供するため建設された。
現状	緑の交流空間として、交流センターやログハウスで年間 600 人の利用があり、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	花と緑に親しむレクリエーション施設として利用されていることから、継続とする。
備考	

No.(2)-25

(1)概要

施設名称	小水林間広場			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	26 m ²	
所在地	生福 7914 番地 3	敷地面積	13,945 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	26	木造	1	1998	22	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	山村と都市の交流促進を図るとともに、森林のレクリエーション利用等の推進及び健康増進に寄与するため建設された。
現状	年間を通じて家族連れ等の利用があり、また、小学校等の遠足でも活用されており、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	市民が気軽に利用できるレクリエーション施設であることから、継続とする。
備考	

No.(2)-26

(1)概要

施設名称	沖ノ浜国有林内施設			
所管課	観光交流課	棟数	2	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	47 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 102 番地先	敷地面積	— m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	7	コンクリートブロック	1	1972	48	34	
2	更衣室・展望台	40	鉄筋コンクリート	2	1983	37	47	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2013	トイレ	トイレ改修	746	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	沖ノ浜の海水浴場等周辺の利便施設として建設された。
現状	沖ノ浜海水浴場は、現在開設されていない。
今後の方針	沖ノ浜国有林内施設は、海水浴場の開設が見込めないため、廃止する。
備考	

No.(2)-27

(1)概要

施設名称	照島海岸（倉庫）			
所管課	観光交流課	棟数	3	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	24 m ²	
所在地	照島 5298 番地 3	敷地面積	— m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	東倉庫	11	軽量鉄骨造	1	1991	29	24	
2	西倉庫	9	軽量鉄骨造	1	2001	19	24	
3	トイレ	4	コンクリートブロック	1	1987	33	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	照島海岸（倉庫）は、浜競馬等イベント開催時の資材の保管場所として、設置された。
現状	浜競馬等の資材倉庫として活用されている。
今後の方針	資材倉庫として活用されていることから、継続とする。
備考	

No.(2)-28

(1)概要

施設名称	照島海水浴場（管理棟）			
所管課	観光交流課	棟数	1	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	209 m ²	
所在地	東島平町 7956 番地	敷地面積	— m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理棟	209	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	2	1986	34	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	照島海水浴場の更衣室・管理棟として建設された。
現状	照島海水浴場は、開設されていないが、浜競馬やビーチバレーなどのイベントの倉庫として活用されている。
今後の方針	浜競馬やビーチバレーなどのイベントの倉庫として活用されていることから、継続とする。
備考	

No.(2)-29

(1)概要

施設名称	総合観光案内所			
所管課	観光交流課	棟数	2	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	196 m ²	
所在地	上名 3018 番地	敷地面積	— m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	総合観光案内所	168	鉄骨造	1	2016	4	38	
2	トイレ	28	鉄筋コンクリート	1	2011	9	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市の観光や特産品、催事等に関する情報を広く提供するとともに、本市を訪れる観光客等と市民との交流の場とすることにより、観光の振興及び特産品の普及を図り、併せて地域の活性化に資するため建設された。
現状	観光案内機能を持つ市内唯一の施設であり、旅行者の観光案内や情報提供を行っている。
今後の方針	交流人口の増を図るため、継続とする。
備考	

No.(2)-30

(1)概要

施設名称	薩摩藩英国留学生記念館			
所管課	観光交流課	棟数	1	
種別	レクリエーション施設・観光施設	延床面積	675 m ²	
所在地	羽島 4930 番地	敷地面積	1,148 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	薩摩藩英国留学生記念館	675	鉄骨鉄筋コンクリート	2	2014	6	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	薩摩藩英国留学生 19 名の船出の地である羽島において、日本の近代化に大きく貢献した薩摩藩英国留学生達の偉業を後世に伝える施設として建設された。
現状	郷土の誇る薩摩藩英国留学生を顕彰する施設として、本市観光の中核施設となっている。
今後の方針	薩摩藩英国留学生を顕彰する施設として継続とする。また管理について、指定管理制度の導入を検討する。
備考	

No.(3)-1

(1)概要

施設名称	働く女性の家			
所管課	福祉課	棟数	1	
種別	産業系施設	延床面積	799 m ²	
所在地	新生町 183 番地	敷地面積	428 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	働く女性の家	799	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	2	1979	41	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	働く女性及び勤労者家庭の主婦の日常生活に必要な援助を図る目的で建設された。
現状	年間を通じ主催講座や自主講座で利用されており、年間 1 万 1 千人の利用があり、社会福祉協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	働く女性等の活動の拠点施設であることから、継続とする。
備考	串木野高齢者福祉センターと一体的な施設である。

No.(3)-2

(1)概要

施設名称	いちき特産品直売所季楽館			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	産業系施設	延床面積	154 m ²	
所在地	大里 6166 番地 1	敷地面積	2,137 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	いちき特産品直売所季楽館	154	木造	1	1996	24	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	特産品の展示及び即売により、消費拡大と産業振興を図り、市の活性化に資することを目的に整備された。
現状	農作物等を中心とした特産品直売所としては、市内に一つしかない施設であるが、売上額は減少傾向にある。いちき特産品振興会が指定管理を行っている。
今後の方針	直売所として農作物等の特産品の販売や販路拡大などの推進をするため、継続とする。
備考	

No.(3)-3

(1)概要

施設名称	大里農産加工センター			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	産業系施設	延床面積	138 m ²	
所在地	大里 5664 番地	敷地面積	1,105 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	大里農産加工センター	138	鉄筋コンクリート	1	1990	30	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農産物の食品加工、農家生活の改善及び住みよい農村生活環境の改善に寄与するため建設された。
現状	主に農産物加工を行い、年 265 日、1,300 人の利用がある。加工品は市内直売所やスーパーなどで販売されており、市民へ農産加工の指導等も行われ、市来大里加工グループが指定管理を行っている。
今後の方針	市来地域内の農産加工施設として週 6 日の利用があることから、継続とする。
備考	

No.(3)-4

(1)概要

施設名称	川上生活改善センター			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	産業系施設	延床面積	267 m ²	
所在地	川上 1707 番地	敷地面積	2,722 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	川上生活改善センター	267	鉄筋コンクリート	1	1977	43	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農家生活の改善、農業経営技術の研修、市民の連帯意識の高揚及び住みよい農村生活環境の改善に寄与するため建設された。
現状	生活研究グループ「川上加工グループ」を中心に、農産加工の研修や商品開発等に活用されており、年間 100 日、550 人の利用となっており、利用頻度は少ない。生活研究グループ連絡協議会市来支部が指定管理を行っている。
今後の方針	類似施設が3施設あり、利用頻度が少ないことから廃止する。
備考	

No.(3)-5

(1)概要

施設名称	生福農業研修センター(生福交流センター内)			
所管課	農政課	棟数	0	
種別	産業系施設	延床面積	(112 m ²)	
所在地	生福 8576 番地 1	敷地面積	7,090 m ²	

(2)構成

※延床面積は、他施設の一部であるため括弧書きとした。

	建物名称	延床面積(m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	生福農業研修センター	(112)	鉄筋コンクリート	1	1975	45	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	生福交流センター内に農産物の食品加工、農家生活の改善及び住みよい農村生活環境の改善に寄与するため建設された。
現状	生福交流センターに併設した施設で、地域内外の多くの市民に利用され、食品乾燥庫設置により、様々な商品化で活用されている。まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	串木野地域の農産加工施設として利用されていることから、継続とする。
備考	

No.(4)-15

(1)概要

施設名称	串木野学校給食センター			
所管課	学校給食センター	棟数	4	
種別	その他教育施設	延床面積	1,239 m ²	
所在地	照島 4787 番地 2	敷地面積	3,875 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	学校給食センター	1,137	鉄筋コンクリート	2	1983	37	41	
2	処理場	75	鉄筋コンクリート	1	1983	37	38	
3	プロパン庫	12	コンクリートブロック	1	1983	37	34	
4	生ごみ処理機倉庫	15	鉄骨造	1	1983	37	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2015	処理場	廃水処理施設ポンプ・ソフト修繕	648	
2013	処理場	廃水処理施設ポンプ取替え	1,239	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	昭和 58 年に最大 6,000 食/日の調理能力の施設として建設された。
現状	串木野地域の小中学校 11 校、幼稚園 1 園、約 1,800 食を提供している。
今後の方針	学校給食センター建設に伴い串木野学校給食センターは廃止する。
備考	

No.(4)-16

(1)概要

施設名称	市来学校給食センター			
所管課	学校給食センター	棟数	1	
種別	その他教育施設	延床面積	425 m ²	
所在地	大里 3754 番地 2	敷地面積	844 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	学校給食センター	425	鉄骨造	1	2001	19	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	平成 14 年に最大 1,000 食/日の調理能力で、ドライ方式による施設として建設された。
現状	市来地域の小中学校3校、幼稚園1園、約 600 食を提供している。
今後の方針	学校給食センター建設に伴い市来学校給食センターは廃止する。
備考	

No.(4)-17

(1)概要

施設名称	学校給食センター			
所管課	学校給食センター	棟数	3	
種別	その他教育施設	延床面積	2,046 m ²	
所在地	西薩町 17 番地 42	敷地面積	6,263 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	学校給食センター	1,807	鉄骨造	1	2019	1	31	
2	車庫	162	鉄骨造	1	2019	1	31	
3	電気室	77	鉄骨造	1	2019	1	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	安心・安全で栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図り、より良い給食と食生活の改善等に寄与することを目的に建設された。
現状	令和 2 年 4 月から稼働した。調理業務及び配送業務を民間委託している。
今後の方針	学校給食を提供することが必要なため、継続とする。
備考	

No.(5)-1

(1)概要

施設名称	旭幼稚園			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	幼保・こども園	延床面積	181 m ²	
所在地	金山 14067 番地	敷地面積	1,153 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	園舎 1	123	木造	1	1984	36	22	
2	園舎 2	58	木造	1	1984	36	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	幼児を保育し、適当な環境をあたえて、その心身の発達を助長することを目的とし、建設された。
現状	地域に根ざした公立の幼稚園である。
今後の方針	少子化の進行や働く女性の増加による保育ニーズの高まりに加え、認定こども園の開設、幼児教育・保育の無償化に伴い、園児数が急激に減少している状況にあることから、廃止する。
備考	

No.(5)-2

(1)概要

施設名称	市来幼稚園			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	幼保・こども園	延床面積	764 m ²	
所在地	大里 3731 番地	敷地面積	8,280 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	園舎	746	鉄筋コンクリート	2	1988	32	47	
2	倉庫	18	木造	1	1993	27	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	幼児を保育し、適当な環境をあたえて、その心身の発達を助長することを目的とし、建設された。
現状	地域に根ざした公立の幼稚園である。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(5)-3

(1)概要

施設名称	生福保育所			
所管課	福祉課	棟数	3	
種別	幼保・こども園	延床面積	578 m ²	
所在地	生福 8671 番地	敷地面積	2,598 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	園舎	549	鉄筋コンクリート	1	1979	41	47	
2	倉庫 1	19	軽量鉄骨造	1	2004	16	24	
3	倉庫 2	10	軽量鉄骨造	1	2002	18	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2013	園舎	屋根外壁改修	7,770	
2011	園舎	床等改修	4,229	
2010	園舎	空調改修等	3,157	
1992	園舎	園舎改修	10,504	
1991		園庭拡張	14,515	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	乳児及び幼児の健全なる育成と勤労者の福祉を図る目的で建設された。
現状	地域に根ざした市内唯一の公立保育園である。
今後の方針	公の施設に関する管理方針に基づき、施設の譲渡を行う。
備考	

No.(5)-4

(1)概要

施設名称	海浜児童センター			
所管課	福祉課	棟数	2	
種別	幼児・児童施設	延床面積	336 m ²	
所在地	小瀬町 37 番地	敷地面積	891 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	海浜児童センター	329	鉄筋コンクリート	2	1977	43	47	
2	倉庫	7	軽量鉄骨造	1	2004	16	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2007	海浜児童センター	シャッター他改修	1,134	
2004	海浜児童センター	屋根改修	5,639	
1993	海浜児童センター	改修	2,771	
1990	海浜児童センター	改修	3,966	
1977	海浜児童センター	整備	30,650	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	健全な遊びを通して、児童の集団的又は個別的指導を行うことやこども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成助長を図る目的で建設された。
現状	市内外の児童・生徒が遠足等に利用し、年間2万5千人の利用がある。
今後の方針	老朽化がすすんでいるため廃止する。廃止後は、長崎鼻公園の一部とする。
備考	

No.(6)-1

(1)概要

施設名称	串木野高齢者福祉センター			
所管課	福祉課	棟数	2	
種別	高齢福祉施設	延床面積	1,329 m ²	
所在地	新生町 183 番地	敷地面積	1,002 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	事務所・集会所	1,081	鉄筋コンクリート	2	1980	40	50	
2	浴場	248	鉄筋コンクリート	1	1989	31	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	事務所・集会所	屋根防水・外壁改修	19,224	
2010	事務所・集会所	空調改修	49,375	
2009	事務所・集会所	高圧受変電施設改修	4,654	
2005	浴場	浴場ボイラー改修	6,038	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための利用に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませる目的で建設された。
現状	年間を通じ主催講座や自主講座で利用されており、1 万 1 千人の利用があり、社会福祉協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	高齢者福祉の中核的施設であることから、継続とする。
備考	働く女性の家、デイサービスセンターと一体的な施設である。

No.(6)-2

(1)概要

施設名称	デイサービスセンター			
所管課	福祉課	棟数	1	
種別	高齢福祉施設	延床面積	298 m ²	
所在地	新生町 183 番地	敷地面積	187 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	デイサービスセンター	298	鉄筋コンクリート	2	1995	25	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	地域の高齢者への介護予防として日中通いで入浴、食事、機能訓練、教養の向上、レクリエーション等を総合的に供与する目的で建設された。
現状	介護保険デイサービス事業として年間7千人の利用があり、社会福祉協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	今後更に需要の高まる介護サービスの提供施設であることから、継続とする。
備考	働く女性の家、串木野高齢者福祉センターと一体的な施設である。

No.(6)-3

(1)概要

施設名称	市来高齢者福祉センター			
所管課	福祉課	棟数	1	
種別	高齢福祉施設	延床面積	530 m ²	
所在地	湊町1丁目102番地	敷地面積	2,330 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積(m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	市来高齢者福祉センター	530	鉄筋コンクリート	2	1977	43	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2010	市来高齢者福祉センター	外壁改修工事等	9,470	
2009	市来高齢者福祉センター	屋根防水工事等	2,405	
2006	市来高齢者福祉センター	漏水工事	3,833	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための利用に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませることを目的で建設された。
現状	年間を通じ3千人の利用があり、社会福祉協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	地域の高齢者福祉のための中心的な施設であることから、継続とする。
備考	

No.(6)-4

(1)概要

施設名称	健康増進センター豊楽館			
所管課	健康増進課	棟数	1	
種別	高齢福祉施設	延床面積	169 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 100 番地	敷地面積	169 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	豊楽館	169	木造	1	1999	21	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	豊楽館	移転に伴う曳家	—	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	高齢者の介護予防及び地域における自立した日常生活の支援を行う目的で建設された。
現状	生活機能向上に向けた支援を提供しており、年間約 1,800 人（登録約 50 人、4 班、稼働日数約 165 日）の利用がある。
今後の方針	施設を譲渡し民営化する。
備考	

No.(6)-5

(1)概要

施設名称	秀栄ドーム			
所管課	支所市民課	棟数	1	
種別	高齢福祉施設	延床面積	954 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 115 番地	敷地面積	3,561 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	秀栄ドーム	954	鉄骨造	1	2002	18	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	高齢者の生きがい対策や健康の保持増進と寝たきり予防を図る目的で建設された。(介護予防拠点整備事業)
現状	スポーツ(ゲートボール・テニス・グランドゴルフ)はもとより地域行事としても活用されており、民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	全天候型施設としては、他にないため、継続とする。
備考	

No.(6)-6

(1)概要

施設名称	串木野健康増進センター			
所管課	健康増進課	棟数	1	
種別	保健施設	延床面積	1,157 m ²	
所在地	新生町 183 番地 3	敷地面積	7,307 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	串木野健康増進センター	1,157	鉄筋コンクリート	2	1995	25	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2018	串木野健康増進センター	正面入口自動ドア装置取替	778	
2017	串木野健康増進センター	屋根防水維持補修工事	13,392	
2016	串木野健康増進センター	空調設備改修工事	24,084	
2015	串木野健康増進センター	電話装置一式取替	562	
2014	串木野健康増進センター	非常用放送設備修繕	730	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康相談、健康教育、健康診査等の保健サービスを総合的にを行い、市民の健康づくりを推進する目的で建設された。
現状	市民の健康づくりの拠点となっており、年間 1 万 4 千人の利用がある。
今後の方針	市民の健康増進を図るための中核的な施設であることから、継続とする。
備考	

No.(6)-7

(1)概要

施設名称	市来保健センター			
所管課	健康増進課	棟数	1	
種別	保健施設	延床面積	413 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 115 番地	敷地面積	1,761 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	市来保健センター	413	鉄筋コンクリート	1	1967	53	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	市来保健センター	空調設備維持補修工事	8,316	
2017	市来保健センター	屋根防水等維持補修工事	5,724	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市民の健康相談、健康教育、健康診査等の保健サービスを総合的に行い、市民の健康づくりを推進する目的で建設された。
現状	保健センターとしての利用が少なく、地域や子育て支援のために利用されている。
今後の方針	交流センターや子育て支援センターとしての機能を持たせた複合施設とする。
備考	

No.(7)-1

(1)概要

施設名称	市役所串木野庁舎			
所管課	財政課	棟数	4	
種別	庁舎等	延床面積	5,202 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	15,115 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	庁舎	4,276	鉄筋コンクリート	5	1971	49	50	
2	車庫・倉庫	613	鉄骨造	2	1971	49	38	
3	別館倉庫	129	鉄骨造	2	1972	48	38	
4	車庫	184	鉄骨造	1	1993	27	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2016	庁舎	2階建具修繕	5,616	
2015	庁舎	玄関屋根防水修繕	1,944	
2014	庁舎	渡廊下修繕	907	
2014	庁舎	玄関喫煙所改修	972	
2013	庁舎	床等改修工事（地下・1階）	12,000	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	旧串木野市で、大原町にあった庁舎を 1971 年度に新築移転した。
現状	行政庁舎として使用している。
今後の方針	市庁舎の中核を担った施設であり、継続とする。
備考	

No.(7)-2

(1)概要

施設名称	市役所市来庁舎			
所管課	支所市民課	棟数	6	
種別	庁舎等	延床面積	3,922 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 1 番地	敷地面積	7,692 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	庁舎	3,181	鉄筋コンクリート	4	1989	31	50	
2	付属棟	466	鉄筋コンクリート	2	1989	31	50	
3	簡易事務所	14	軽量鉄骨造	1	1989	31	30	
4	バス車庫	36	鉄筋コンクリート	1	1989	31	38	
5	倉庫	132	鉄筋コンクリート	1	1990	30	50	
6	車庫・倉庫	93	鉄筋コンクリート	2	1993	27	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	付属棟	屋根防水修繕	6,579	
2017	付属棟	空冷ヒートポンプ 1 号機修繕	2,160	
2012	庁舎	塔屋外壁修繕	3,507	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	旧市来町で 1989 年度に庁舎を建て替えた。
現状	行政庁舎として使用している。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(7)-3

(1)概要

施設名称	防災センター			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	庁舎等	延床面積	882 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	15,115 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	防災センター	882	鉄筋コンクリート	3	2019	1	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	災害時の対応の迅速化・充実化を図るため建設された。
現状	災害時に災害対策本部を設置するとともに、災害備蓄品の保管庫として活用し、平常時は、会議室としても利用されている。
今後の方針	災害対応の拠点施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-4

(1)概要

施設名称	消防庁舎			
所管課	消防本部	棟数	4	
種別	消防施設	延床面積	1,100 m ²	
所在地	昭和通 133 番地 1	敷地面積	1,604 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	庁舎棟	940	鉄筋コンクリート	2	1983	37	50	
2	訓練塔	80	鉄筋コンクリート	5	1983	37	50	
3	補助訓練塔	39	鉄筋コンクリート	2	1983	37	50	
4	倉庫	41	鉄骨造	1	1992	28	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	消防本部と消防署の機能を持つ消防防災活動の拠点施設として建設された。
現状	消防防災施設の拠点であり、消防車両等 11 台、救急車両 2 台を有し、年間火災 10 件、救急 865 件、救助 9 件の出動実績がある。
今後の方針	消防本部と消防署の機能を持つ施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-5

(1)概要

施設名称	いちき分遣所			
所管課	消防本部	棟数	3	
種別	消防施設	延床面積	464 m ²	
所在地	大里 11 番地 2	敷地面積	3,160 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	庁舎・車庫	285	鉄筋コンクリート	2	1982	38	50	
2	庁舎・車庫(増築分)	129	鉄筋コンクリート	2	1998	22	50	
3	訓練棟	50	鉄骨造	2	2002	18	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	日置地区消防組合時代の施設で、北部地区の防災拠点として建設されたものであり、合併により組合が解散され、いちき分遣所として引き継がれた施設である。
現状	消防防災施設であり、消防車両等2台、救急車両 1 台を有し、年間火災7件、救急345件、救助8件の出動実績がある。
今後の方針	消防署（分遣所）の機能を持つ施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-6

(1)概要

施設名称	土川班車庫詰所			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	40 m ²	
所在地	羽島 9675 番地	敷地面積	- m ²	

(2)構成

※土川交流センター敷地内にある

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	土川班車庫詰所	40	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	1978	42	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	羽島・土川地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	羽島・土川地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-7

(1)概要

施設名称	羽島地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	120 m ²	
所在地	羽島 5218 番地	敷地面積	89 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	羽島地区コミュニティ消防センター	120	鉄筋コンクリート	2	1996	24	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	羽島地区コミュニティ消防センター	屋根防水修繕	2,188	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	羽島・土川地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両2台を有している。
今後の方針	羽島・土川地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-8

(1)概要

施設名称	荒川地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	72 m ²	
所在地	荒川 2450 番地	敷地面積	- m ²	

(2)構成

※荒川小学校敷地内にある

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	荒川地区コミュニティ消防センター	72	鉄筋コンクリート	1	1993	27	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	荒川地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	荒川地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-9

(1)概要

施設名称	本浦地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	86 m ²	
所在地	西浜町 1 番地 2	敷地面積	165 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	本浦地区コミュニティ消防センター	86	鉄筋コンクリート	2	1999	21	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本浦地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	本浦地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-10

(1)概要

施設名称	中央地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	118 m ²	
所在地	旭町 1 番地 2	敷地面積	227 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	中央地区コミュニティ消防センター	118	鉄筋コンクリート	2	1992	28	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	中央地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両2台を有している。
今後の方針	中央地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-11

(1)概要

施設名称	照島地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	120 m ²	
所在地	東島平町 417 番地 1	敷地面積	168 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	照島地区コミュニティ消防センター	120	鉄筋コンクリート	2	1995	25	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	照島地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両2台を有している。
今後の方針	照島地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-12

(1)概要

施設名称	旭地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	72 m ²	
所在地	金山 14103 番地 15	敷地面積	- m ²	

(2)構成

※旭小学校敷地内にある

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	旭地区コミュニティ消防センター	72	鉄骨造	1	1994	26	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	旭地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	旭地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-13

(1)概要

施設名称	生福地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	130 m ²	
所在地	生福 6660 番地 1	敷地面積	542 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	生福地区コミュニティ消防センター	130	鉄筋コンクリート	2	2004	16	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	生福地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	生福地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-14

(1)概要

施設名称	冠嶽地区コミュニティ消防センター			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	75 m ²	
所在地	冠嶽 12984 番地 2	敷地面積	231 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	冠嶽地区コミュニティ消防センター	75	鉄筋コンクリート	2	1994	26	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	冠嶽地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	冠嶽地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-15

(1)概要

施設名称	湊分団車庫・詰所			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	136 m ²	
所在地	湊町 1 丁目 252 番地	敷地面積	81 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	湊分団車庫・詰所	136	鉄筋コンクリート	2	1982	38	50	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	湊・湊町地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	湊・湊町地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-16

(1)概要

施設名称	川南分団車庫・詰所			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	106 m ²	
所在地	大里 705 番地 11	敷地面積	230 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	川南分団車庫・詰所	106	鉄骨造	2	1986	34	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	川南地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	川南地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-17

(1)概要

施設名称	川北分団車庫・詰所			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	107 m ²	
所在地	大里 5631 番地 2	敷地面積	595 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	川北分団車庫・詰所	107	鉄骨造	2	1992	28	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	川北地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	川北地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-18

(1)概要

施設名称	川上分団車庫・詰所			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	96 m ²	
所在地	川上 1171 番地	敷地面積	48 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	川上分団車庫・詰所	96	鉄骨造	2	1987	33	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2014	川上分団車庫・詰所	車庫詰所外壁等工事	4,115	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	川上地区の防災施設として建設された。
現状	消防防災施設であり、消防車両 1 台を有している。
今後の方針	川上地区の防災施設であることから、継続とする。
備考	

No.(7)-19

(1)概要

施設名称	消防資機材倉庫			
所管課	消防本部	棟数	1	
種別	消防施設	延床面積	62 m ²	
所在地	東島平町 26 番地	敷地面積	130 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	消防資機材倉庫	62	鉄骨造	1	1975	45	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	照島地区分団車庫として建設されたが、1996 年照島地区コミュニティ消防センターの建設に伴い、用途廃止されている。
現状	海洋汚染のオイルフェンス等の消防資機材倉庫として使用している。
今後の方針	消防資器材倉庫として活用していることから、継続とする。
備考	

No.(8)-1

(1)概要

施設名称	荒川農村公園			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	18 m ²	
所在地	荒川 3356 番地	敷地面積	12,396 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	18	コンクリートブロック	1	1996	24	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農村集落の生活環境の改善並びに地域住民と都市住民との交流促進を通じた農村振興及び地域経済の活性化を図るため建設された。
現状	利用者数が少なく、ほぼ管理のみを行っている状況であり、まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	利用が少ないため、廃止する。
備考	

No.(8)-2

(1)概要

施設名称	市口公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	8 m ²	
所在地	京町 49 番地	敷地面積	2,110 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	8	鉄筋コンクリート	1	1962	58	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-3

(1)概要

施設名称	駅下公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	5 m ²	
所在地	高見町 25 番地	敷地面積	1,010 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	5	鉄筋コンクリート	1	1982	38	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-4

(1)概要

施設名称	塩田第 1 公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	4 m ²	
所在地	東塩田町 157 番地	敷地面積	2,659 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	4	鉄筋コンクリート	1	1989	31	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-5

(1)概要

施設名称	塩田第2公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	6 m ²	
所在地	東塩田町 103 番地	敷地面積	4,000 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	6	鉄筋コンクリート	1	1989	31	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-6

(1)概要

施設名称	塩田第3公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	4 m ²	
所在地	春日町 230 番地	敷地面積	1,313 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	4	鉄筋コンクリート	1	1989	31	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-7

(1)概要

施設名称	大原公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	5 m ²	
所在地	住吉町 92 番地	敷地面積	2,210 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	5	鉄筋コンクリート	1	1982	38	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-8

(1)概要

施設名称	御倉町公園			
所管課	土木課	棟数	2	
種別	公園	延床面積	17 m ²	
所在地	新生町 183 番地 3	敷地面積	43,360 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ 1	7	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	1982	38	38	
2	トイレ 2	10	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2017	3	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-9

(1)概要

施設名称	冠岳展望公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	26 m ²	
所在地	生福 7647 番地 402	敷地面積	7,700 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	26	木造	1	2000	20	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	冠岳観光開発事業により建設された。
現状	トイレ清掃については、シルバー人材センターへ委託。 除草清掃については、市の直営にて管理している。
今後の方針	冠岳観光の施設として、継続とする。
備考	

No.(8)-10

(1)概要

施設名称	光神免公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	5 m ²	
所在地	桜町 42 番地	敷地面積	1,980 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	5	鉄筋コンクリート	1	1982	38	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-1 1

(1)概要

施設名称	郷之原第2公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	9㎡	
所在地	緑町23番地	敷地面積	3,100㎡	

(2)構成

	建物名称	延床面積(㎡)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	9	鉄筋コンクリート	1	1971	49	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-12

(1)概要

施設名称	郷之原第3公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	9 m ²	
所在地	昭和通 202 番地	敷地面積	2,500 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	9	鉄筋コンクリート	1	1967	53	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-13

(1)概要

施設名称	讃岐公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	30 m ²	
所在地	港町 46 番地	敷地面積	9,900 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	30	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	1971	49	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-14

(1)概要

施設名称	白左工門ヶ丘公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	3 m ²	
所在地	三井 19182 番地 5	敷地面積	643 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	3	鉄筋コンクリート	1	1988	32	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。 上水道の供用区域外であるため、水洗化されていない。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-15

(1)概要

施設名称	新田跡公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	湊町 2 丁目 90 番地	敷地面積	3,508 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2009	11	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2016	トイレ	浄化槽	200	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-16

(1)概要

施設名称	須賀広場			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	東島平町 657 番地	敷地面積	4,468 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋コンクリート	1	1983	37	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	ゲートボール利用者用の環境整備目的で建設された。
現状	トイレ清掃については、シルバー人材センターへ委託している。 建築物本体が老朽化し、設備は水洗化されていない。
今後の方針	ゲートボール利用者も極めて少ないことから利用されていない状況にあり、近隣に利用できる施設があるため、廃止する。
備考	

No.(8)-17

(1)概要

施設名称	中央公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	9 m ²	
所在地	旭町 64 番地	敷地面積	2,240 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	9	鉄筋コンクリート	1	1992	28	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-18

(1)概要

施設名称	照島公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	7 m ²	
所在地	西島平町 410 番地	敷地面積	18,371 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	7	鉄筋コンクリート	1	1984	36	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	照島観光の推進を目的に建設された。
現状	トイレ清掃及び除草清掃をシルバー人材センターへ委託している。
今後の方針	観光客の利用があることから、継続とする。
備考	

No.(8)-19

(1)概要

施設名称	照島東公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	5 m ²	
所在地	東島平町 270 番地	敷地面積	2,800 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	5	鉄筋コンクリート	1	1984	36	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-20

(1)概要

施設名称	長崎鼻公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	34 m ²	
所在地	小瀬町 139 番地	敷地面積	91,460 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	34	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	1991	29	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	トイレ	塗装（防水）	2,420	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-21

(1)概要

施設名称	中道公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	湊町 4 丁目 160 番地	敷地面積	2,504 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋コンクリート	1	2009	11	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-22

(1)概要

施設名称	西岳公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	9 m ²	
所在地	生福 7647 番地 182	敷地面積	9 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	9	鉄筋コンクリート	1	1988	32	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	西岳の観光推進及び衛生環境の保全を目的に建設された。
現状	西岳の登山客に利用されている。 トイレ清掃については、シルバー人材センターへ委託している。 上水道の供用区域外にあるため、水洗化されていない。
今後の方針	登山客利用があるため、継続とする。
備考	

No.(8)-23

(1)概要

施設名称	浜中公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	口之町 127 番地	敷地面積	2,557 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2017	3	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-24

(1)概要

施設名称	麓ふれあい公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	17 m ²	
所在地	上名 2518 番地	敷地面積	5,555 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	17	木造	1	2006	14	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-25

(1)概要

施設名称	湊中央公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	17 m ²	
所在地	湊町 3 丁目 139 番地	敷地面積	3,507 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	17	木造	1	2004	16	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2017	トイレ	外壁塗装	146	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-26

(1)概要

施設名称	新開公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	上名162番地	敷地面積	2,680 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋コンクリート	1	2012	8	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-27

(1)概要

施設名称	西之口公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	上名 2874 番地	敷地面積	2,100 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋コンクリート	1	2012	8	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-28

(1)概要

施設名称	新田公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	平江20271番地28	敷地面積	3,961 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋コンクリート	1	2012	8	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。まちづくり協議会が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-29

(1)概要

施設名称	れいめいふれあい公園			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	19 m ²	
所在地	羽島 5225 番地	敷地面積	3,000 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	19	木造	1	1998	22	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	農村集落の生活環境の改善並びに地域住民と都市住民との交流促進を通じた農村振興及び地域経済の活性化を図るため建設された。
現状	ウォーキング大会・校区の駅伝大会・盆踊り大会の会場等となっている。通常は、子供たちの遊ぶ広場として活用されている。
今後の方針	交流センターに隣接している公園であり、地域の利用も多いため、継続とする。
備考	

No.(8)-30

(1)概要

施設名称	西薩公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	40 m ²	
所在地	西薩町 18 番地	敷地面積	14,732 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	40	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2015	5	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-31

(1)概要

施設名称	郷之原第 1 公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	住吉町 165 番地	敷地面積	1,100 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2016	4	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(8)-32

(1)概要

施設名称	冠岳花川砂防公園			
所管課	土木課	棟数	2	
種別	公園	延床面積	52 m ²	
所在地	冠嶽 13413 番地 2	敷地面積	54,000 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	27	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2016	4	38	
2	倉庫	25	木造	1	1998	22	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	県が整備した公園であり、管理を市が受託しており、市が管理用倉庫とトイレを設置した。
現状	本市有数の観光地であり、年間を通じ多くの来訪者が利用している。
今後の方針	観光客の利用があることから、継続とする。
備考	

No.(8)-33

(1)概要

施設名称	権現下公園			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	公園	延床面積	10 m ²	
所在地	湊町 3 丁目 282 番地	敷地面積	3,430 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	トイレ	10	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	2017	3	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	都市計画施設である公園で、公共の福祉の増進を図るため建設された。
現状	公園利用者により利用されている。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	都市計画法で規定される公園であるため、継続とする。
備考	

No.(9)-1

(1)概要

施設名称	串木野環境センター			
所管課	生活環境課	棟数	6	
種別	供給処理施設	延床面積	7,355 m ²	
所在地	冠嶽 10660 番地	敷地面積	23,778 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	工場棟	5,738	鉄筋コンクリート	3	1999	21	38	
2	管理・プラザ棟	1,305	鉄筋コンクリート	2	1999	21	50	
3	ストックヤードⅠ	140	鉄筋コンクリート	1	1999	21	38	
4	ストックヤードⅡ	60	鉄筋コンクリート	1	1999	21	38	
5	洗車場上屋	94	鉄骨造	1	2000	20	31	
6	公園トイレ	18	木造	1	2005	15	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2018	工場棟	2号炉耐火材修繕	17,420	
2018	工場棟	No.2 資源物供給ベルト取替	11,642	
2017	工場棟	1号炉耐火材補修	16,729	
2017	工場棟	白防送風機取替	10,788	
2017	工場棟	2号炉ろ布取替修繕	16,200	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	一般廃棄物の処分を衛生的かつ適正に行うため建設された。
現状	年間を通じ一般家庭・事業所に利用されており、一部運営管理は民間事業者に委託を行っている。
今後の方針	整備方針を検討し、適宜改修を行い、継続とする。
備考	

No.(9)-2

(1)概要

施設名称	旧清掃センター			
所管課	生活環境課	棟数	3	
種別	供給処理施設	延床面積	485 m ²	
所在地	冠嶽 10662 番地 2	敷地面積	3,144 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	事務所	200	鉄筋コンクリート	1	1979	41	50	
2	車庫	133	鉄骨造	1	1999	21	31	
3	処理場	152	鉄筋コンクリート	1	1987	33	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	串木野地域のごみの焼却施設として建設された。
現状	焼却炉は既に解体され、事務所等が残存している。事務所は可燃ごみ収集運搬事業の休憩施設として活用されている。
今後の方針	可燃ごみ収集運搬事業が民営化されたことに伴い、廃止する。
備考	

No.(9)-3

(1)概要

施設名称	市来埋立処分場			
所管課	生活環境課	棟数	1	
種別	供給処理施設	延床面積	49 m ²	
所在地	川上 3980 番地 7	敷地面積	17,660 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来埋立処分場	49	鉄筋コンクリート	2	2005	15	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	市来地域のごみの埋立施設として建設された。合併後、串木野環境センターの焼却灰等の埋立施設として使用していた。
現状	平成 30 年 3 月に埋立終了し、浸出処理水の処理は隣接施設（一般廃棄物管理型最終処分場）で行っている。
今後の方針	使用していないため、廃止する。
備考	

No.(9)-4

(1)概要

施設名称	一般廃棄物利用エネルギーセンター			
所管課	生活環境課	棟数	2	
種別	供給処理施設	延床面積	171 m ²	
所在地	川上 3980 番地	敷地面積	3,370 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	運転管理室	63	鉄骨造	2	2003	17	38	
2	受入供給設備	108	鉄骨造	3	2004	16	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	家庭から出る一般ごみと肉骨粉を同時に焼却でき、焼却エネルギーを発電に利用する施設として建設された。
現状	当初予定していた機能が果たせず、利用不能である。
今後の方針	令和2年度で廃止する。
備考	

No.(9)-5

(1)概要

施設名称	一般廃棄物管理型最終処分場			
所管課	生活環境課	棟数	1	
種別	供給処理施設	延床面積	601 m ²	
所在地	川上 3961 番地	敷地面積	55,400 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	一般廃棄物管理型最終処分場	601	鉄骨造	1	2017	3	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	串木野環境センターの焼却灰等を埋め立てる施設として建設された。
現状	平成 30 年 3 月から供用開始し、運営管理は民間事業者へ委託を行っている。
今後の方針	市民生活に重要な施設であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-1

(1)概要

施設名称	串木野小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	日出町 163 番地	敷地面積	206 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野小学校校長住宅	86	木造	1	1995	25	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-2

(1)概要

施設名称	串木野小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	日出町 11437 番地 1	敷地面積	398 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野小学校教頭住宅	86	木造	1	1997	23	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-3

(1)概要

施設名称	照島小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	西島平町 312 番地	敷地面積	186 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	照島小学校校長住宅	86	木造	1	1994	26	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	照島小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-4

(1)概要

施設名称	照島小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	照島 5454 番地 2	敷地面積	241 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	照島小学校教頭住宅	86	木造	1	1995	25	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	照島小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-5

(1)概要

施設名称	羽島小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	87 m ²	
所在地	羽島 3672 番地	敷地面積	117 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	羽島小学校校長住宅	82	木造	2	1990	30	22	
2	倉庫	5	木造	1	1990	30	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	羽島小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-6

(1)概要

施設名称	羽島小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	89 m ²	
所在地	羽島 5195 番地 4	敷地面積	251 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	羽島小学校教頭住宅	89	木造	1	1998	22	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	羽島小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-7

(1)概要

施設名称	旭小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	83 m ²	
所在地	金山 14103 番地 1	敷地面積	325 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	旭小学校校長住宅	78	木造	1	1992	28	22	
2	倉庫	5	木造	1	1992	28	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	旭小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-8

(1)概要

施設名称	旭小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	金山 14103 番地 1	敷地面積	220 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	旭小学校教頭住宅	86	木造	1	1996	24	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	旭小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-9

(1)概要

施設名称	生福小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	88 m ²	
所在地	生福 6471 番地 3	敷地面積	224 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	生福小学校校長住宅	81	木造	1	1982	38	22	
2	倉庫	7	木造	1	1982	38	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	生福小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-10

(1)概要

施設名称	生福小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	78 m ²	
所在地	生福 8680 番地 2	敷地面積	444 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	生福小学校教頭住宅	72	木造	1	1978	42	22	
2	倉庫	6	木造	1	1978	42	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	生福小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-11

(1)概要

施設名称	荒川小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	78 m ²	
所在地	荒川 2347 番地 1	敷地面積	214 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	荒川小学校校長住宅	78	木造	1	1991	29	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	荒川小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-12

(1)概要

施設名称	荒川小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	88 m ²	
所在地	荒川 2531 番地 1	敷地面積	196 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	荒川小学校教頭住宅	82	木造	1	1976	44	22	
2	倉庫	6	木造	1	1976	44	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2014	荒川小教頭住宅	19.4 m ² 増築	4,644	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	荒川小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-13

(1)概要

施設名称	冠岳小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	79 m ²	
所在地	冠嶽 12844 番地2	敷地面積	1,013 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	冠岳小学校校長住宅	74	木造	1	1991	29	22	
2	倉庫	5	木造	1	1991	29	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	冠岳小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	冠岳小学校の統廃合に伴い、令和2年度末をもって廃止する。
備考	

No.(10)-14

(1)概要

施設名称	冠岳小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	冠嶽 12844 番地2	敷地面積	1,013 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	冠岳小学校教頭住宅	86	木造	1	2000	20	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	冠岳小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	冠岳小学校の統廃合に伴い、令和2年度末をもって廃止する。
備考	

No.(10)-15

(1)概要

施設名称	串木野中学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	87 m ²	
所在地	日出町 11437 番地 1	敷地面積	248 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野中学校校長住宅	87	木造	1	1996	24	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野中学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-16

(1)概要

施設名称	串木野中学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	日出町 457 番地	敷地面積	422 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野中学校教頭住宅	86	木造	1	1997	23	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野中学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-17

(1)概要

施設名称	串木野西中学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	89 m ²	
所在地	平江 20312 番地2	敷地面積	416 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野西中学校校長住宅	89	木造	1	2007	13	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野西中学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-18

(1)概要

施設名称	串木野西中学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	89 m ²	
所在地	平江 20312 番地2	敷地面積	416 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	串木野西中学校教頭住宅	89	木造	1	2007	13	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	串木野西中学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-19

(1)概要

施設名称	羽島中学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	羽島 5195 番地 4	敷地面積	218 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	羽島中学校校長住宅	86	木造	1	1998	22	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	羽島中学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-20

(1)概要

施設名称	羽島中学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	74 m ²	
所在地	羽島 5393 番地 3	敷地面積	160 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	羽島中学校教頭住宅	68	木造	1	1977	43	22	
2	倉庫	6	木造	1	1977	43	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	羽島中学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-21

(1)概要

施設名称	生冠中学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	89 m ²	
所在地	生福 8680 番地 2	敷地面積	407 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	生冠中学校校長住宅	89	木造	1	2009	11	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	生冠中学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-22

(1)概要

施設名称	生冠中学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	70 m ²	
所在地	生福 8209 番地 2	敷地面積	127 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	生冠中学校教頭住宅	70	木造	1	1977	43	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	生冠中学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-23

(1)概要

施設名称	教育長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	85 m ²	
所在地	大原町 43 番地 2	敷地面積	149 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	教育長住宅	82	木造	2	1992	28	22	
2	倉庫	3	コンクリートブロック	1	1992	28	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市に赴任する教職員の住環境を確保するため建設された。
現状	教育長住宅として利用している。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(10)-24

(1)概要

施設名称	日出町教職員住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	86 m ²	
所在地	日出町 163 番地	敷地面積	206 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	日出町教職員住宅	86	木造	1	2001	19	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市に赴任する教職員の住環境を確保するため建設された。
現状	教職員住宅として利用している。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(10)-25

(1)概要

施設名称	住吉町教職員住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	81 m ²	
所在地	住吉町 100 番地 2	敷地面積	129 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	住吉町教職員住宅	81	木造	1	1978	42	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市に赴任する教職員の住環境を確保するため建設された。
現状	現在空き家である。
今後の方針	経過年数も 40 年を超えており、入居者もないため、廃止する。
備考	

No.(10)-26

(1)概要

施設名称	市来小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	102 m ²	
所在地	大里 3768 番地	敷地面積	360 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来小学校校長住宅	102	木造	1	1995	25	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	市来小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-27

(1)概要

施設名称	市来小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	88 m ²	
所在地	大里 3754 番地 4	敷地面積	166 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来小学校教頭住宅	88	木造	2	1976	44	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	市来小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-28

(1)概要

施設名称	川上小学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	91 m ²	
所在地	川上 1669 番地 1	敷地面積	722 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	川上小学校校長住宅	91	木造	1	1991	29	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	川上小学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-29

(1)概要

施設名称	川上小学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	91 m ²	
所在地	川上 1669 番地 1	敷地面積	722 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	川上小学校教頭住宅	91	木造	1	1992	28	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	川上小学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-30

(1)概要

施設名称	市来中学校校長住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	98 m ²	
所在地	大里 3753 番地	敷地面積	355 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来中学校校長住宅	98	木造	1	1995	25	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	市来中学校校長住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-31

(1)概要

施設名称	市来中学校教頭住宅			
所管課	教育委員会総務課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	94 m ²	
所在地	大里 3753 番地 1	敷地面積	381 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	市来中学校教頭住宅	94	木造	1	2005	15	22	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	本市公立小・中学校に赴任する管理職の住環境を確保するため建設された。
現状	市来中学校教頭住宅として利用している。
今後の方針	学校の管理運営において必要であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-32

(1)概要

施設名称	防災行政無線小ヶ倉中継局			
所管課	まちづくり防災課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	14 m ²	
所在地	羽島 8805 番地 11	敷地面積	651 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	防災行政無線小ヶ倉中継局	14	鉄筋コンクリート	1	1982	38	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	防災行政無線について、親局でカバーできない不感地区（羽島地区）に電波を送信するため建設された。
現状	小ヶ倉中継局から、10ヶ所の拡声子局（羽島支所・羽島浜・松尾・野中柵・河原・海土泊・万福・平山・小ヶ倉・土川）に電波を送信している。
今後の方針	羽島地区住民に対し、迅速に災害情報や行政情報の伝達を行うため、継続とする。
備考	

No.(10)-33

(1)概要

施設名称	日置北部公設地方卸売市場			
所管課	農政課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	1,539 m ²	
所在地	西薩町 17 番地 20	敷地面積	10,000 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	日置北部公設地方卸売市場	1,539	鉄筋コンクリート	1	1995	25	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	青果等の安定した供給を進めるため、1995 年に串木野青果地方卸売市場、さつま日置農協串木野青果地方卸売市場、さつま日置農協東市来青果地方卸売市場の3市場を統合し、建設された。
現状	民間の卸売業者が利用し事業を行っているが、流通形態の変化等があり、非常に厳しい経営状態である。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(10)-34

(1)概要

施設名称	冠岳農村工業団地			
所管課	政策課	棟数	6	
種別	その他	延床面積	1,602 m ²	
所在地	冠嶽 14346 番地 5	敷地面積	9,662 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	管理棟	132	軽量鉄骨造	1	1988	32	30	
2	食堂棟	182	軽量鉄骨造	1	1988	32	25	
3	第 1 工場	360	鉄骨造	1	1988	32	31	
4	第 2 工場	700	鉄骨造	1	1988	32	31	
5	トイレ	55	木造	1	1988	32	15	
6	倉庫	173	鉄骨造	1	1991	29	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	第 1 工場	電源引込配線修繕	1,298	
2018	トイレ	給排水管水漏修繕	32	
2018	第 2 工場	幹線設備修繕	297	
2018	第 2 工場	火災報知器修繕	864	
2018	第 2 工場	引違戸修繕	81	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1984 年度に企業誘致のため工業団地を整備。1988 年度に民間事業者が工場等を建設した。1994 年度に民間事業者の撤退に伴い取得した。
現状	2 民間事業者が賃貸しており、事業を行っている。
今後の方針	現在賃貸のため、継続とする。ただし、空きが生じた時点で譲渡又は廃止する。
備考	

No.(10)-35

(1)概要

施設名称	照島工業用地工場跡建屋			
所管課	政策課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	1,241 m ²	
所在地	照島 4860 番地 1	敷地面積	3,328 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	工場	1,241	鉄骨造	1	1984	36	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2016	工場	建屋ドア修繕	170	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	立地協定を締結した民間事業者が 2016 年に撤退した。2017 年に債権整理に伴い建屋を取得した。
現状	現在は空き工場として企業誘致を行っている。
今後の方針	企業誘致に努め、民間へ譲渡を行う。
備考	

No.(10)-36

(1)概要

施設名称	神村学園前駅前広場			
所管課	水産商工課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	55 m ²	
所在地	別府 4281 番地 1	敷地面積	1,069 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	昇降口	28	鉄骨造	2	2009	11	31	
2	トイレ	27	木造	1	2009	11	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	駅利用者の安全及び利便を確保するとともに、駅周辺の環境美化及び交通の円滑化を図るため建設された。
現状	平成 30 年度の乗車人数は 976 人／日。民間事業者が指定管理を行っている。
今後の方針	駅利用者の安全及び利便性を確保するため、継続とする。
備考	

No.(10)-37

(1)概要

施設名称	旧土川小学校			
所管課	政策課	棟数	4	
種別	その他	延床面積	1,442 m ²	
所在地	羽島 9944 番地	敷地面積	5,732 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	校舎	1,405	鉄筋コンクリート	2	1991	29	47	
2	体育倉庫	20	木造	1	1993	27	15	
3	更衣室	9	コンクリートブロック	1	1985	35	38	
4	機械室	8	コンクリートブロック	1	1993	27	34	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	2010 年 3 月に閉校した土川小学校の跡地を活用するため、跡地施設等活用委員会を設置し、公募により利用者を募集してきた。
現状	2013 年 4 月から民間事業者と賃貸契約を締結している。
今後の方針	民間へ譲渡する。
備考	

No.(10)-38

(1)概要

施設名称	旧土川小教頭住宅			
所管課	財政課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	83 m ²	
所在地	羽島 9675 番地 2	敷地面積	331 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	旧土川小教頭住宅	76	木造	1	1979	41	22	
2	倉庫	7	木造	1	1979	41	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1979 年土川小学校教頭住宅として建設されたが、2010 年 3 月の土川小学校廃校後、普通財産として、民間へ賃貸をしていた。
現状	民間へ賃貸を行ってきたが、契約終了後、空き家となっている。
今後の方針	未利用の普通財産であるため、民間へ譲渡する。
備考	

No.(10)-39

(1)概要

施設名称	旧西薩開発所			
所管課	財政課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	272 m ²	
所在地	栄町 19 番地	敷地面積	2,825 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	事務所	234	軽量鉄骨造	1	1984	36	30	
2	車庫	38	鉄骨造	1	1984	36	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	地域振興整備公団が事務所として、1984 年9月建設し、1998 年4月に市に無償譲渡された。
現状	2015 年まで障害児学童クラブが利用していたが、現在は利用されていない。
今後の方針	未利用の普通財産であるため、民間へ譲渡する。
備考	

No.(10)-40

(1)概要

施設名称	旧船舶職員養成講習所			
所管課	財政課	棟数	2	
種別	その他	延床面積	537 m ²	
所在地	栄町 16 番地	敷地面積	3,547 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	事務所	504	木造	1	1964	56	24	
2	倉庫	33	木造	1	1964	56	15	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考
2019	事務所	空調設備取替修繕	500	

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	遠洋マグロ漁業の操業が進み、漁業無線通信士不足を解消するため 1964 年 11 月に常設の講習所を設置した。1969 年に日本船舶職員協会管理の串木野海技専門学院へと変わり運営され、1982 年 4 月に閉鎖されその後普通財産として管理している。
現状	シルバー人材センター及び青年会議所の事務所として利用されている。
今後の方針	2 団体が利用中であるため、継続とする。
備考	

No.(10)-41

(1)概要

施設名称	旧羽島分団車庫			
所管課	財政課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	24 m ²	
所在地	羽島 5237 番地	敷地面積	108 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床 面積 (m ²)	構造	階数	建築 年度	経過 年数	耐用 年数	備考
1	旧羽島分団車庫	24	鉄骨造	1	1966	54	31	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1966 年に羽島分団車庫として建設した。1997 年に羽島コミュニティ消防センターが建設されたため、用途廃止し普通財産となった。その後個人に 2018 年度まで賃貸していた。
現状	借り手がおらず空き家となっている。
今後の方針	未利用の普通財産であるため、民間へ譲渡する。
備考	

No.(10)-42

(1)概要

施設名称	羽島崎トイレ			
所管課	土木課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	22 m ²	
所在地	羽島 5942 番地	敷地面積	3,889 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	22	鉄筋コンクリート	1	2013	7	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	観光の推進のため、県が建設した。建設後、市へ移管された。
現状	羽島崎神社と隣接しており、参拝者などの利用が多い。
今後の方針	多くの来訪者が利用していることから、継続とする。
備考	

No.(10)-43

(1)概要

施設名称	木原墓地トイレ等			
所管課	生活環境課	棟数	4	
種別	その他	延床面積	23 m ²	
所在地	照島 2444 番地 3	敷地面積	54,099 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ 1	5	鉄筋コンクリート	1	1992	28	38	
2	トイレ 2	5	鉄筋コンクリート	1	1997	23	38	
3	トイレ 3	7	鉄筋コンクリート	1	2014	6	38	
4	倉庫	6	軽量鉄骨造	1	2004	16	24	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1946 年戦災復興特別都市計画法に基づき、区域内 11 ケ所に散在する墓地を 1953 年から 1956 年にかけて整備した。1992 年度以降 3 ケ所のトイレが建設された。
現状	お墓参り者の利用に供している。
今後の方針	継続とする。
備考	

No.(10)-44

(1)概要

施設名称	野元墓地トイレ			
所管課	生活環境課	棟数	1	
種別	その他	延床面積	5 m ²	
所在地	野元 20975 番地	敷地面積	4,754 m ²	

(2)構成

	建物名称	延床面積 (m ²)	構造	階数	建築年度	経過年数	耐用年数	備考
1	トイレ	5	鉄筋コンクリート	1	1993	27	38	

(3)直近の修繕等

年度	建物名称	改修・整備内容	事業費(千円)	備考

(4)施設の設置経緯・現状・今後の方針

設置経緯	1984 年に移転整備された野元墓地内に 1993 年度に建設された。
現状	お墓参り者の利用に供している。
今後の方針	継続とする。
備考	

資料

用語解説・注釈

①方針の定義

方針	定義
継続	現状のまま使用します。
改修	施設を通常使用できる状態に修繕を行います。
用途変更	施設を別な用途に変更し、市民ニーズへの適合を図ります。
譲渡	行政財産としての活用がない場合又は民間の方が柔軟な運営が見込まれる場合は、民間へ譲渡します。
廃止	利用が少ない場合又は同用途の施設が複数ある場合は、残すべき施設を選定し、廃止を決めた施設は、財産処分を行います。

②注釈

- ・施設の詳細中、年度の表記がない数値は、平成 30 年度のデータを基に記載してあります。
- ・耐用年数は「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づき設定しています。

公共施設に関する市民アンケート結果

1 はじめに

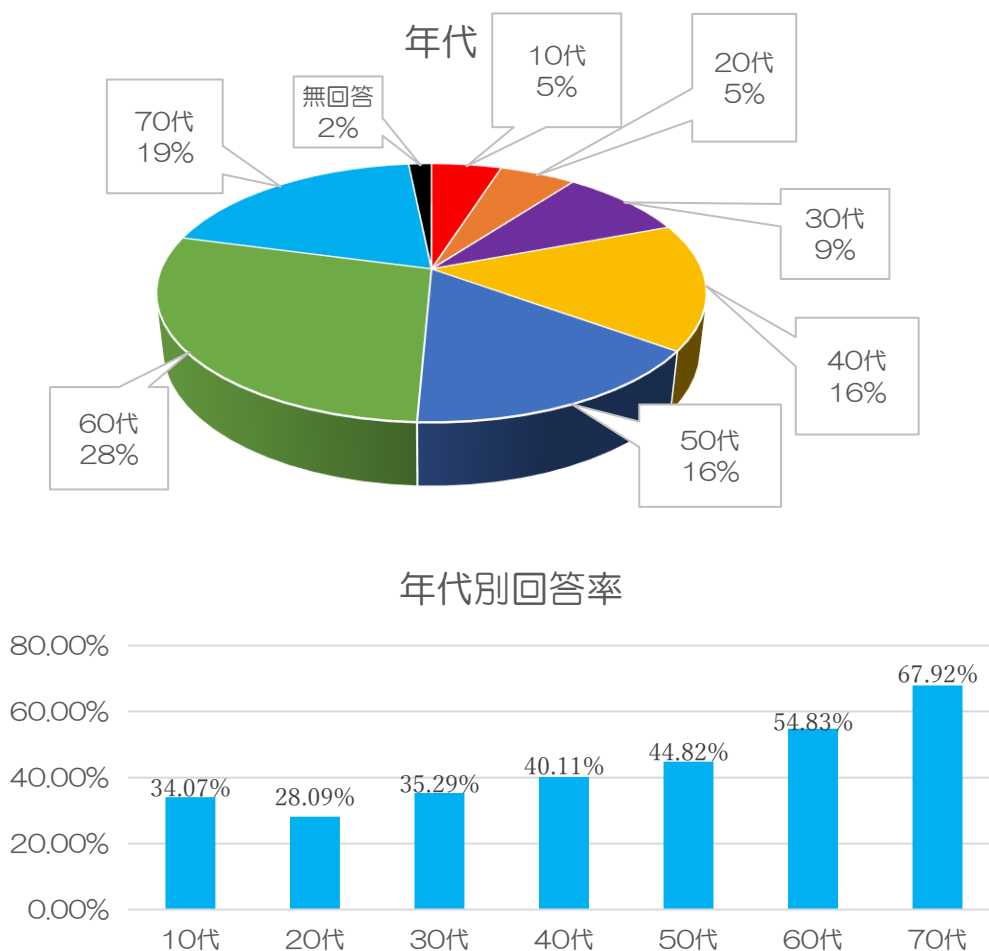
2020年1月に市民の方を対象にアンケートを行ったところ937名の方より回答をいただきました。お忙しいところ、様々な意見も添えていただきありがとうございました。今後の公共施設等のあり方について参考とさせていただきます。

2 目的概要

公共施設の適正化につきましては、高度経済成長期に集中して整備した公共施設が、今後一斉に更新（建替）時期を迎えることになり、全てを更新（建替）すると多額の費用が必要になりますので、現在の施設を長く使うことや類似する施設を一部廃止することも必要となってまいります。そこで、今後の公共施設のあり方について、市民の皆さまからご意見をいただき、公共施設の適正な配置に向けた検討を行うための資料として活用することを目的にアンケートを実施いたしました。対象者としては、住民基本台帳（2019年11月30日現在）から、無作為に抽出した年齢15歳～74歳である市民2,000人としております。

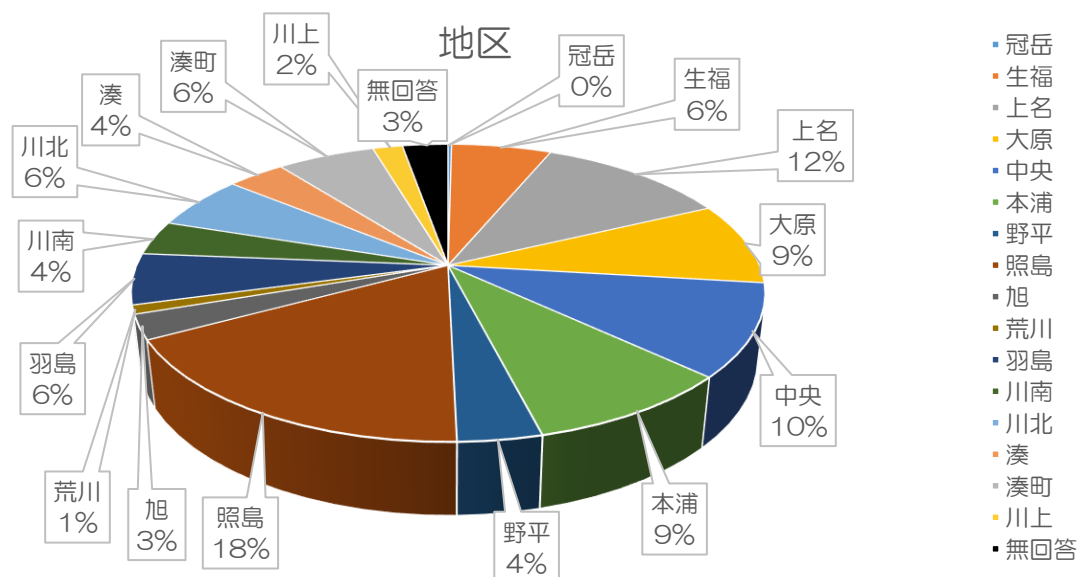
3 個別の結果

【問1 あなたの年齢を教えてください。】



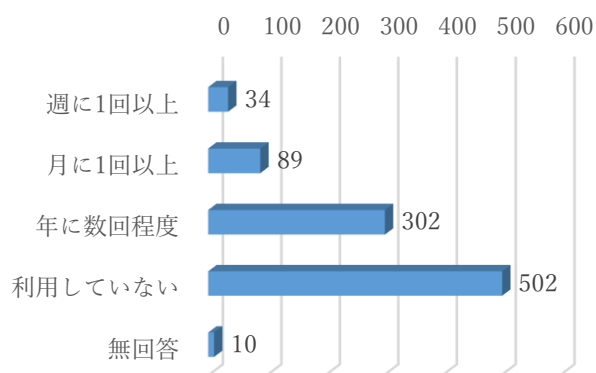
【問2 あなたのお住いの地区を教えてください。】

- ① 冠岳 ② 生福 ③ 上名 ④ 大原 ⑤ 中央 ⑥ 本浦 ⑦ 野平 ⑧ 照島
⑨ 旭 ⑩ 荒川 ⑪ 羽島 ⑫ 川南 ⑬ 川北 ⑭ 湊 ⑮ 湊町 ⑯ 川上

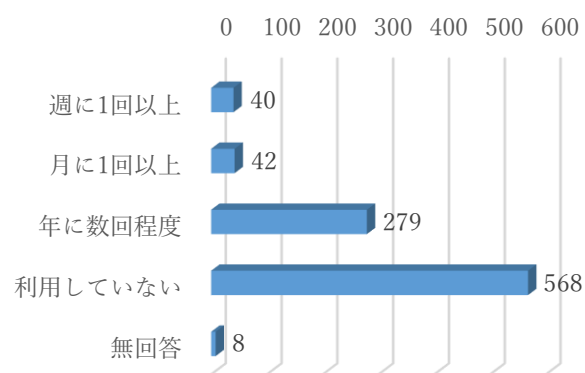


【問3 あなたは、過去1年間に、以下に示す公共施設をどのくらい利用しましたか。】

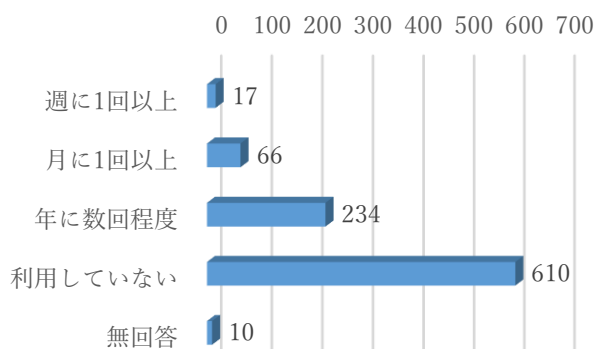
市民文化施設の利用頻度



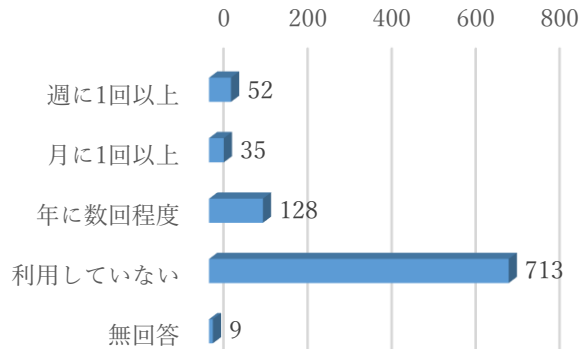
スポーツ・レクリエーション系施設の利用頻度



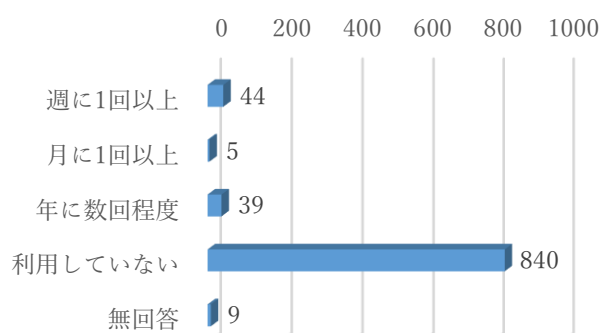
産業系施設の利用頻度



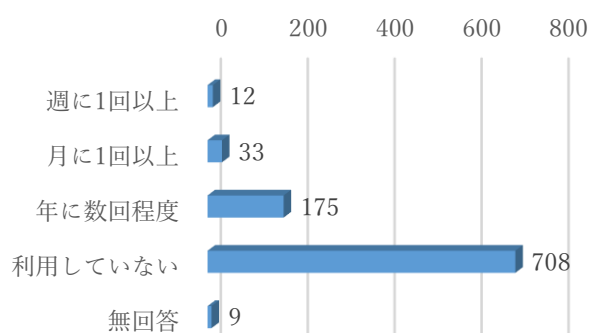
学校教育系施設の利用頻度



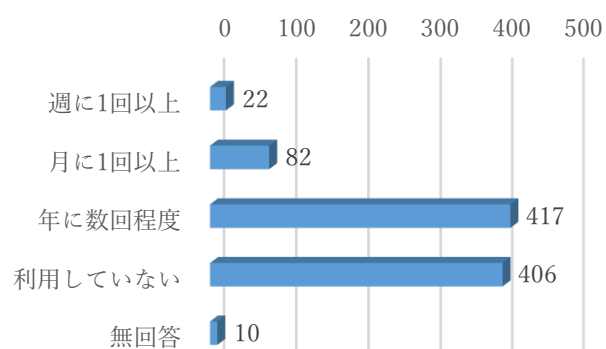
子育て支援施設の利用頻度



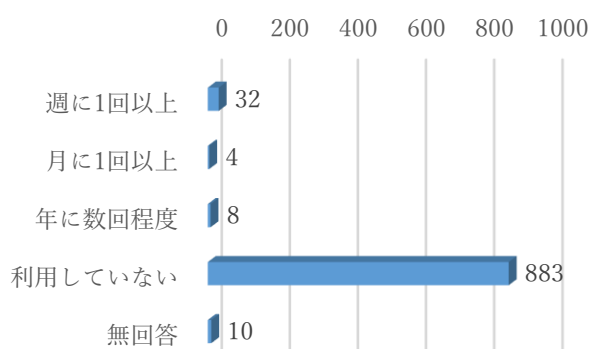
保健・福祉施設の利用頻度



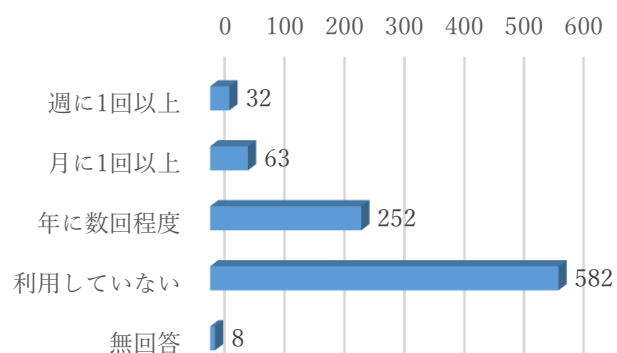
行政系施設の利用頻度



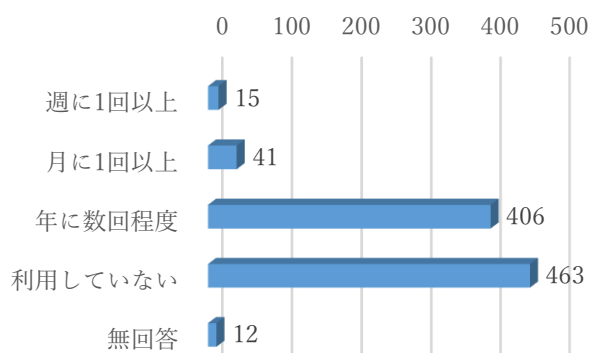
公営住宅の利用頻度



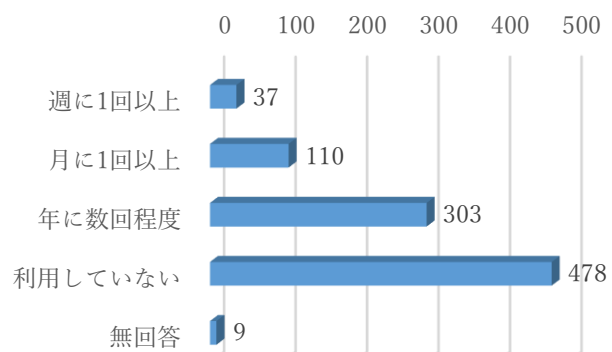
公園の利用頻度



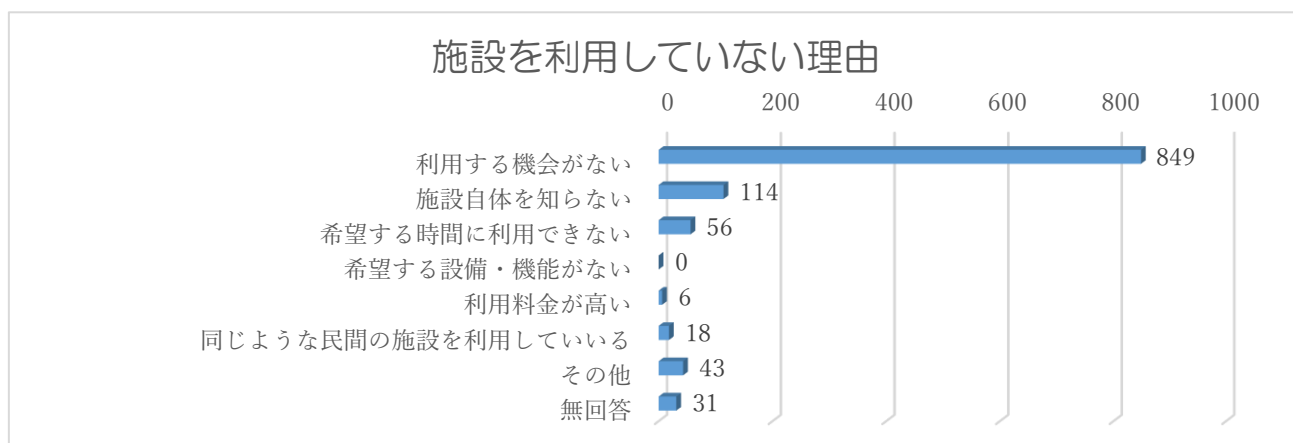
供給処理施設の利用頻度



その他施設の利用頻度



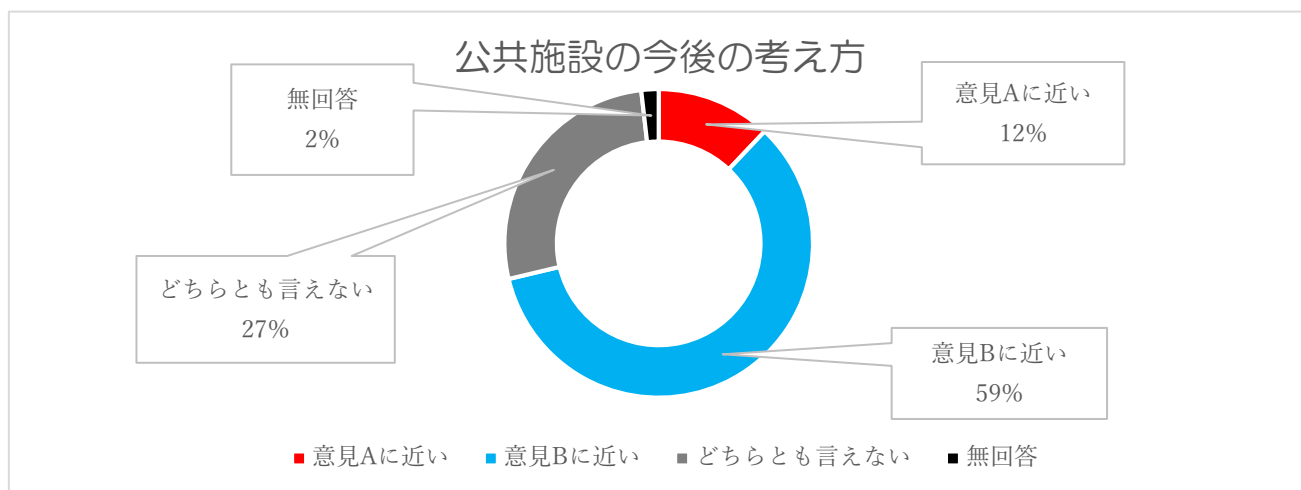
【問 4 問 3 で「利用していない」を 1 つでも選択した方におたずねします。利用していない理由としてあてはまるもの全てに○をお願いします。】



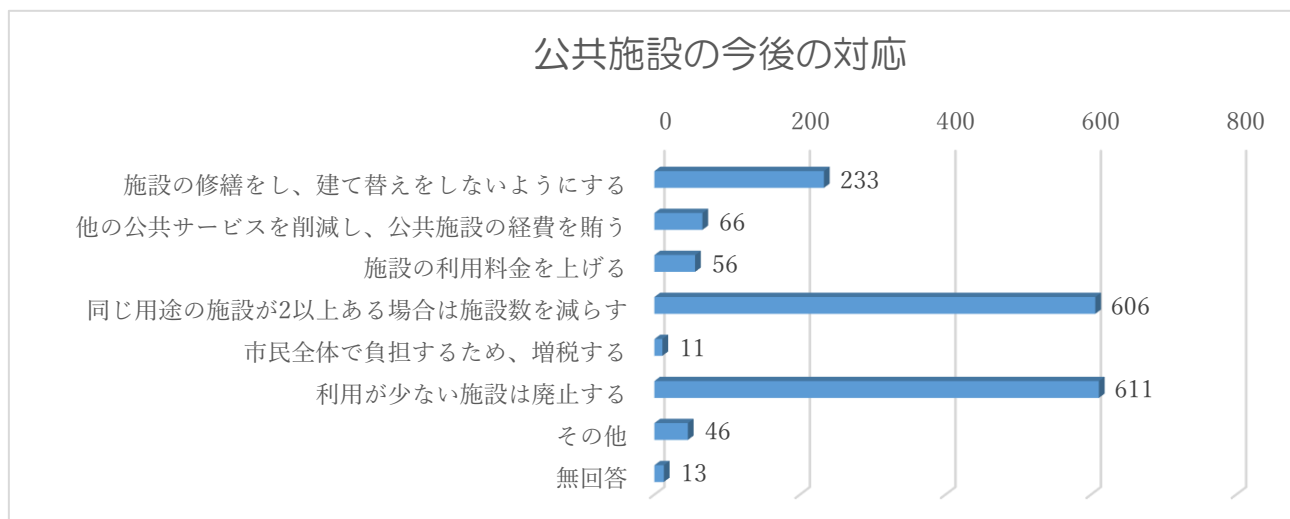
【問 5 公共施設は今後多額の更新費用がかかると見込まれます。あなたの考えに近いものを 1 つ選んでください。】

○意見 A 市税や使用料などの負担が増えてでも、全ての施設を維持していくべきである。

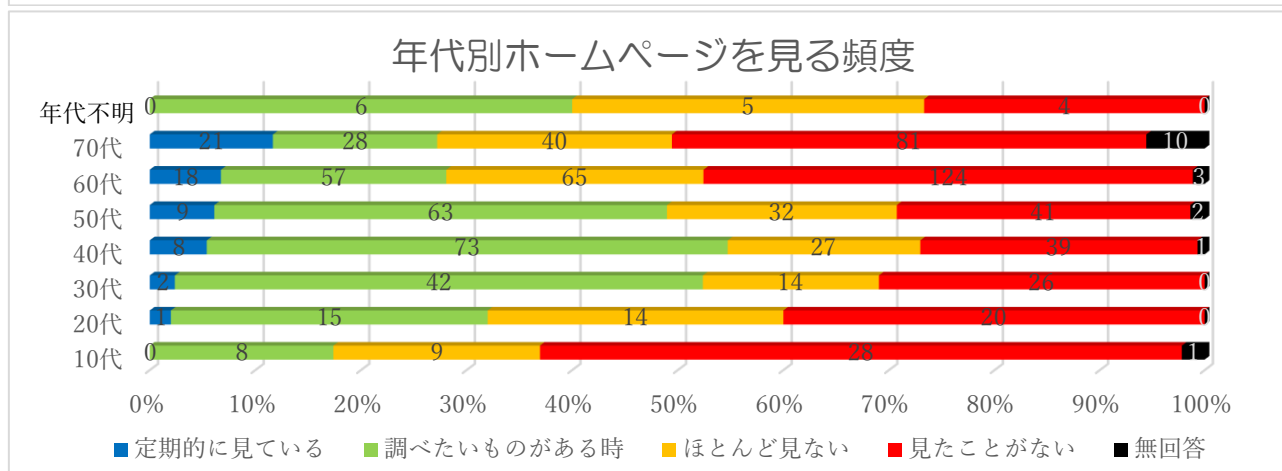
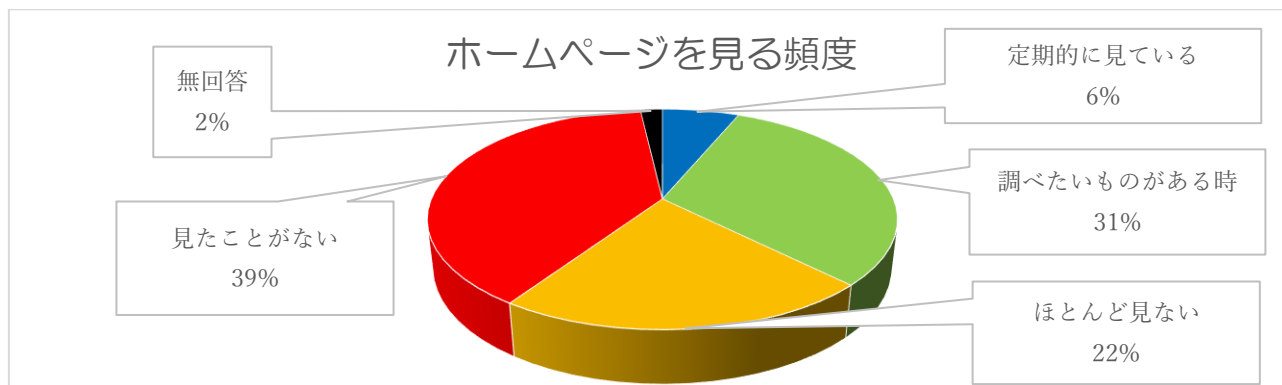
○意見 B 負担が増えないように施設を減らしていくべきである。



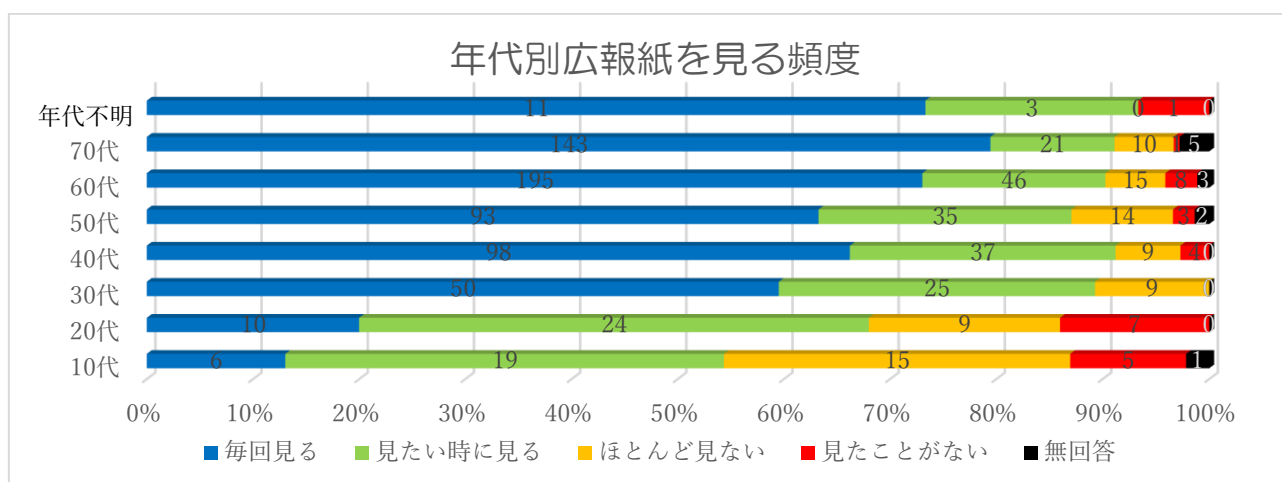
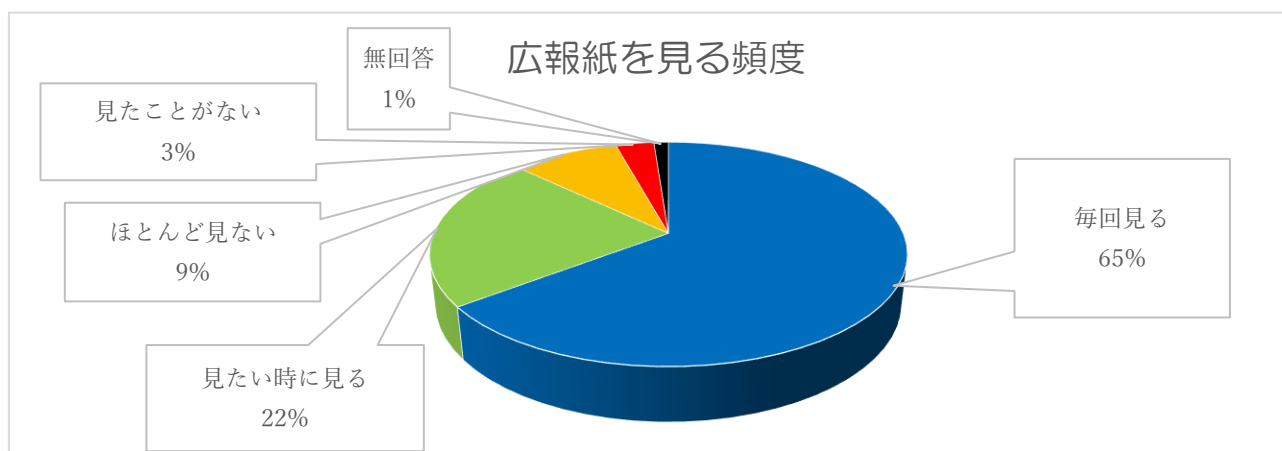
【問 6 今後公共施設の維持更新費用に不足が見込まれますが、どのように対応すべきと考えますか。】



【問 7 市のホームページを見る頻度を教えてください。】



【問 8 市の広報紙を見る頻度を教えてください。】



【ご意見の一部をご紹介します】

- 施設の廃止や縮小はやむを得ない又は積極的にすすめるべきだ。
- 対策をもっと早く行うべきだった。
- 施設の PR をもっとすべきだ。
- 施設拡充等をするべきだ。
- 税金は上げてほしくない。

いちき串木野市第 1 期建物系個別施設計画

令和 3 年（2021 年）3 月発行

いちき串木野市経営改革課

〒896-8601 鹿児島県いちき串木野市昭和通 1 3 3 番地 1

TEL 0996-32-3111

FAX 0996-32-3124